

平成 30 年度 3 月
一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 資料本体
日時： 平成 31 年 3 月 2 日（土） 15：00～18：00
場所： ハービス PLAZA 6 階（4, 5, 6 号）会議室
大阪市北区梅田 2-5-25 TEL06-6343-7350

[協議事項]

1、研修会予定

白木副会長

316 回研修会（3 月 23 日 帝国ホテル大阪 ）

共催 中外製薬（株）

総合司会 山本 善哉	受付 中野 晋吾
------------	----------

講演 1：

座長 神藤 佳孝

演題名 「開業医が知っておくべき最新のリウマチ治療

～リウマチ母性内科外来における妊娠希望患者のケアも含めて」

演者 大阪急性期・総合医療センター 免疫リウマチ科

主任部長 藤原 弘士 先生

講演 2：

座長 西澤 徹

演題名 「整形外科医が知っておくべき骨粗鬆症診療のピットフォール

～活性型ビタミン D 製剤の作用と注意点～」

演者 大阪市立大学大学院医学研究科 准教授 今西 康雄 先生

日整会 講演 1 1 6 R

講演 2 1 4 R

日医生涯研修 4 医師と患者関係とコミュニケーション

7 医療の質と安全

15 臨床問題解決のプロセス

77 骨粗鬆症

317 回研修会（4 月 6 日 ANA クラウンプラザホテル大阪 ）

共催 大正富山製薬(株)

総合司会 史 賢林	受付 宮崎 浩
-----------	---------

講演 1:

座長 小林 正之

演題名 「脊椎難治症例に対する外科的挑戦」

演者 近畿大学医学部 整形外科 准教授 宮本 裕史 先生

講演 2:

座長 永田 行男

演題名 「変形性膝関節症の痛みの機序と治療戦略」

演者 千葉大学大学院医学研究院総合医科学講座 特任教授

東千葉メディカルセンター リハビリテーション科部長

渡辺 淳也 先生

日整会 講演 1 4, 7, SS

講演 2 12, 13, Re

日医生涯研修 19 身体機能の低下

59 背部痛

61 関節痛

62 歩行障害

318 回研修会 (5 月 25 日 ホテル阪急インターナショナル)

共催 エーザイ製薬(株)

総合司会 梁 裕昭	受付 荻野 晃
-----------	---------

講演 1:

座長 山口 眞一

演題名 「実地医家が知っておくべき経口抗リウマチ剤の使用法

～医療経済的な視点からリウマチ治療を再考するバイオ vs csDMARDs～」

演者 天理よろづ相談所病院 総合内科 部長

兼 膠原病センター長 八田 和大 先生

講演 2:

座長 宮島 茂夫

演題名 「肘関節周辺骨折に対するサージカルアプローチ」

演者 マックシール巽病院 副院長

整形外科主任部長・骨折治療センター長 中村 誠也 先生

日整会 講演 1 1, 6、R 日本リウマチ学会、日本リウマチ財団

講演 2 2, 9、 日本手外科学会

日医生涯研修 7, 9, 15, 57

特別研修会 平成 31 年 6 月 8 日 (土) ホテルヴィアール大阪 (あゆみ製薬)

Opening Remarks 大阪臨床整形外科医会 会長 増田 博

演題 1

座長 片岡 英一郎

「新しい腰痛診療ガイドラインを活用する

～実地医家が知っておくべきガイドラインのポイント」

講師 自治医科大学 整形外科 教授 竹下 克志 先生

単位申請：日整会 (4, 7) S S、生涯教育 (9, 60)

演題 2

座長 前中 孝文

「最近の麻酔科学の進歩 ～安全な麻酔の為に～」

講師 鹿児島大学麻酔科 上村裕一 (かんむらゆういち) 先生

単位申請：日整会 (14-2 医療安全)、生涯教育 (7, 17)

Closing Remarks 大阪臨床整形外科医会 副会長 藤本 啓治

319 回研修会 (6 月 22 日 リーガロイヤルホテル)

共催 小野薬品 (株)

総合司会 岸本 英樹 受付 調子 和則

講演 1:

座長 宮口 正継

演題名 「分子標的薬時代の関節リウマチ手術～足部手術の進歩と可能性～」

演者 東京女子医大 整形外科・膠原病リウマチ痛風センター 准教授

猪狩 勝則先生

講演 2:

座長 邊見 俊一

演題名 「変形性股関節症の治療戦略～人工股関節の耐用年数を聞かれたら?～」

演者 : 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 展開医療科学講座 整形外科 教授

尾崎 誠先生

日整会 講演 1 6、12 R 日本リウマチ学会 日本リウマチ財団

講演 2 11、13、

日医生涯研修 9, 19, 61, 62

320 回研修会 (7 月 27 日 ホテル阪急インターナショナル)

共催 ファイザー (株)

総合司会	受付
------	----

講演 1 :

座長

演題名 「脊椎疾患の痛みとその治療～慢性腰痛と集学的治療について～」

演者 : 山口大学 整形 講師 鈴木 秀典先生

講演 2 :

座長

演題名 「腱板断裂の診断と治療戦略～保存的治療から最新の手術治療まで～」

演者 : 大阪医科大学整形外科学教室 講師 三幡 輝久 先生

日整会 講演 1

講演 2

日医生涯研修

特別研修会 平成 31 年 8 月 3 日 (土) ANA クラウンプラザホテル

(塩野義、リリー)

Opening Remarks 大阪臨床整形外科医会 会長 増田 博

演題 1

座長

演題名未定

演者 : 佐野厚生総合病院 副院長 清水健太郎 先生

演題 2

座長

演題名 「変形性膝関節症に対する適切な治療法選択」

演者 : 京都大学医学研究科 整形外科学 教授 松田 秀一 先生

Closing Remarks

321 回研修会 (8 月 24 日 ANA クラウンプラザホテル)

共催 旭化成 (株)

総合司会	受付
------	----

講演 1 :

座長

演題名 「関節リウマチの診断と治療～IL6 阻害薬の可能性～」

演者 : 聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center

医長 岸本 暢将先生

講演 2 :

座長

演題名 「診断・治療に難渋する上肢神経障害の診方、治し方」

演者 : 市立奈良病院 四肢外傷センター センター長 村田 景一先生

日整会 講演 1

講演 2

日医生涯研修

特別研修会 平成 31 年 9 月 21 日 (土) リーガロイヤルホテル

(アステラス製薬)

322 回研修会 (9 月 28 日 ANA クラウンプラザホテル)

共催 第一三共 (株)

総合司会	受付
------	----

講演 1 :

座長

演題名未定

演者 : 産業医大 田中 良哉先生

単位申請 : 未定

講演 2 :

座長

演題名 「整形外科医 (開業医) が知っておくべき骨軟部腫瘍取り扱いのピットホール」

演者 : 大阪市立大学医学部 整形外科 星 学先生

単位申請 : 未定

日整会 講演 1

講演 2

日医生涯研修

323 回研修会 (10 月 19 日 ANA クラウンプラザホテル)

共催 帝人 (株)

総合司会	受付
------	----

メーカー (帝人) : 選任中

演題名未定

単位申請 : 未定

OCOA (京大) : 選任中

講演 1 :

座長

演題名未定

演者 :

単位申請 : 未定

講演 2 :

座長

演題名

演者 :

単位申請 : 未定

日整会 講演 1

講演 2

日医生涯研修

324 回研修会 (11 月 9 日 ホテル阪急インターナショナル)

共催 久光製薬 (株)

総合司会	受付
------	----

講演 1 :

座長

演題名 「～」

演者 : 順天堂大学 保健医療学部 理学療法学科 教授 池田 浩 先生

講演 2 :

座長

演題名 「実地医家が知っておくべき思春期特発性側弯症の診断と治療」

演者：和歌山県立医科大学 整形外科 講師 筒井 俊二先生

日整会 講演 1

講演 2

日医生涯研修

今後の予定

11/30（土）骨・関節フォーラム@グランフロント大阪：

中外&メジカルビュー

2020 年

1/18（土）325 回研修会@ホテルグランヴィア：日本臓器製薬

2/15（土）326 回研修会@ホテルグランヴィア：科研製薬

3/28（土）327 回研修会@ANA クラウンプラザ：：中外製薬

4/（土）328 回研修会@ANA クラウンプラザ：大正富山

5/16（土）329 回研修会@ホテルグランヴィア：エーザイ

6/（土）330 回研修会

7/（土）331 回研修会

8/22（土）332 回研修会@ANA クラウンプラザ：旭化成

2、平成30年度会計報告

木下副会長

収支報告

自 平成 30 年 2 月 1 日 至 平成 31 年 1 月 31 日

収 入 の 部		支 出 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
前期繰越額	14,221,681	JCOA 会費・入会金	11,152,000
JCOA、OCA 会費・入会金	17,334,000	理事会会議費	424,292
名簿・会報広告収入	831,000	会議費	1,242,000
府医師会等助成金	300,000	総会費	178,102
研修会(第 304 回～第 314 回)	3,114,000	印刷費・会報等作成費	3,580,330
第 5 回 リハビリテーション研修会	242,000	セラピスト研修会、ロコモディネーター資格研修会	474,844

小児運動器疾患指導管理医師セミナー	959,000	骨と関節の日活動費	734,000
特別研修会(6/9,8/7,10/20)	664,000	研修会単位申請料	449,880
セラピスト研修会、ロコモディネーター資格 研修会	862,000	大阪マラソン関連費用	588,131
OGOA ハンズオンエコーセミナー	93,000	小児運動器疾患指導管理医師セミナー	490,022
運動器疾患 骨・関節フォーラム	400,000	出務交通費	2,032,268
受取利息(医師信用組合他)	193	助成金OGOA療法士会	713,521
雑収入	1,774	広告費(HP維持費等)	130,870
		会計事務手数料	370,417
		SLOC 団体寄付金	100,000
		40 周年記念事業関連費用	5,149,170
		福利厚生費	391,043
		手数料	1,044,967
		通信費	318,636
		慶弔費	114,800
		各務文献石碑	108,000
		租税公課(収入印紙)	12,000
		消耗品費	27,999
		雑費	27,728
		次期繰越額	9,167,628
合 計	39,022,648	合 計	39,022,648

※当期(2月～1月)収支差額	△ 5,054,053
----------------	----------------

財産目録

平成 31 年 1 月 31 日現在

項 目		金 額
資 産	大阪府医師信用組合 普通預金 No.0172225	6,618,513
	大阪府医師信用組合 普通預金 No.2019041	9,851
	大阪府医師信用組合 定期預金 No.0484767	1,178,177

	ゆうちょ銀行	0
	手許現金有高	1,361,087
資 産 合 計		9,167,628
負債	預り金(源泉所得税)	1,921
	負 債 合 計	1,921
差 引 純 資 産		9,165,707

収支差額
0

当期収入 24,800,967

当期支出 29,855,020

3、平成30年度会計監査

木下副会長

4、平成31年度予算案

木下副会長

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	9,167,628		
JCOA 会費収入・入会金	12,200,000	JCOA 会費・入会金	12,200,000
OCOA 会費収入	6,000,000	理事会会議費	400,000
名簿・会報広告収入	830,000	会議費	1,150,000
府医師会助成金	300,000	総会費	200,000
定例研修会会費収入	3,400,000	印刷費・会報等作成費	3,200,000
特別研修会	900,000	セラピスト研修会関連	350,000
運動器疾患・骨・関節フォーラム	400,000	骨と関節の日活動費	750,000
セラピスト研修会会費収入	450,000	研修会単位申請費等	450,000

受取利息	1,000	大阪マラソン関連費用	550,000
		出務交通費	1,900,000
		助成金 OCOA 療法士会	550,000
		広告費（ホームページ 維持費）	130,000
		会計事務手数料	340,000
		SLOC 団体寄付金	100,000
		50 周年記念行事積立金	600,000
		福利厚生費	400,000
		手数料	700,000
		通信費	300,000
		慶弔費	100,000
		租税公課	10,000
		消耗品費	25,000
		雑費	20,000
		予備費	9,223,628
	33,648,628		33,648,628

来期収入 24,481,000

来期支出 24,425,000

5、大阪臨床整形外科医会療法士会 平成 31 年度事業方針・事業計画（案） 木下副会長

【平成 31 年度事業方針案】

大阪臨床整形外科医会会員の施設で勤務する療法士を中心に、相互の親睦を深めるとと

もに知識・技術の向上に努め、質の高い運動器リハビリテーションの提供とその発展・普及を目指す。

【平成 31 年度事業計画案】

1. 大阪臨床整形外科医会療法士会、会員名簿の作成。
 - ・平成 31 年 3 月末時点で作成予定
2. 『診療所・クリニックで必要な臨床技術』をテーマに勉強会（年 8 回）、研修会（年 1 回）を開催する。
 - ・平成 31 年 2 月末目途に年間スケジュールを作成。
3. 第 32 回日本臨床整形外科学術集会での演題発表
4. 療法士会会員施設間での親睦を深め、運営役員の充足を図る。
 - ・O C O A 療法士会会員に対し運営協力依頼。
5. HP 等での広報の充実、O C O A との連携
6. その他

6、学術教育事業と助成金の推移事業計画

木下副会長

療法士会助成金

	助成金	繰越 し金		会員数（時点）	研 修 会	技術 的講 習会	勉 強 会	療法士会 開催分参加会 員延べ数	JCOA 学術集会 演題発表	日本運動器科 学会学術集会 シンポ演題参加	合同研修会 O C O A リハ研修会
H23 年 (発足)	500,000	0		105 (H24. 1. 25)	1	0	0	65	—	—	—
H24 年	650,092	24,908		123 (H24. 7. 31)	1	3	6	165	1 題		○

								(第 25 回)		
H25 年	657,919	27,018	122 (H26. 3. 31)	1	4	6	174	1 題 (第 26 回)		○
H26 年	579,043	120,210	123 (H27. 3. 31)	1	3	6	146	1 題 (第 27 回)	1 題 (第 26 回)	○
H27 年	416,758	168,136	127 (H28. 3. 31)	1	3	6	100	1 題 (第 28 回)		○
H28 年	650,092	36,141	120 (H29. 1. 31)	1	3	6	143	1 題 (第 29 回)		○
H29 年	463,534	194,239	126 (H30. 1. 31)	1	3	6	158	1 題 (第 30 回)		○
H30 年	713,521	12,843	131 (H31. 1. 31)	1	3	6	193	1 題 (第 31 回)		○

7、療法士会 予算案・会計報告

木下副会長

収入の部				支出の部			
項目		金額	合計	項目		金額	合計
会費収 入		120,000	120,000	運営費	消耗品・印刷・会議など	50,000	50,000
事業収 入				学会参加費	交通・宿泊・参加費	50,000	50,000
研修会	第 9 回研修会	200,000	200,000	研修会	第 8 回研修会	420,000	420,000
勉強会	第 43 回勉強会	27,000	216,000	勉強会	第 37 回勉強会	67,000	536,000
	第 44 回勉強会	27,000			第 38 回勉強会	67,000	
	第 45 回勉強会	27,000			第 39 回勉強会	67,000	
	第 46 回勉強会	27,000			第 40 回勉強会	67,000	
	第 47 回勉強会	27,000			第 41 回勉強会	67,000	
	第 48 回勉強会	27,000			第 42 回勉強会	67,000	

	第 49 回勉強会	27,000			第 41 回勉強会	67,000	
	第 50 回勉強会	27,000			第 42 回勉強会	67,000	
繰越金		120,000	120,000	その他	案内郵送・会員間交流など	50,000	50,000
助成金		500,000	500,000	予備費		50,000	50,000
その他				残金			
合計		1,156,000	1,156,000	合計		1,156,000	1,156,000

8、OCOA 特別会員について

木下副会長

		JCOA 名誉会員	OCOA 特別会員 有資格者	OCOA 特別会員推薦		備考
				受諾	辞退	
1	伊藤成幸	○	○	○		会費免除希望せず
2	長田明	○	○	○		
3	栗本一孝	○（会費寄付）	○	×	○	監事
4	黒田晃司	○（会費寄付）	○	×	○	監事
5	坂本徳成	○	○	○		
6	服部良治	○	○	○		
7	早石雅有	○	○	○		議長
8	堀木篤	○	○	○		
9	三橋二良		○	○		
10	松矢浩司		○	×	○	監事
11	天野敬一		○	○		現役引退後免除希望
12	前野岳敏		○	○		
		8 名	12 名	9 名		

9、OCOA 会員名簿(2019 年度版)広告協賛の趣意書

宮崎理事

2019 年 月吉日

御中

大阪臨床整形外科医会
会 長 増田 博

趣意書

大阪臨床整形外科医会会員名簿(2019 年度版) 広告協賛のお願い

拝啓 貴社、益々御清栄のことと御喜び申し上げます。

さて、当大阪臨床整形外科医会は発足以来、会員相互の親睦、融和と団結を図り、整形外科医療の発展・普及、更に医療技術の適正評価の実現を図るため活動を続けて参りました。

その活動の一環として 2 年に 1 回「大阪臨床整形外科医会会員名簿」を発行して、会員相互の情報のネットワークとしております。

つきましては、今回会員名簿(2019 年度版)を発刊するにあたり、本会の趣旨に御賛同の上、何卒広告協賛の御援助を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

大阪臨床整形外科医会会員名簿（2019 年度版） 予算書

		金額
2019 年 10 月 発行	発行部数 1,300 部@252 円 +税 送料	¥358,980
広告料	A4 版 1 頁 ¥20,000×16 社	¥320,000
	大阪臨床整形外科医会 一般会計から	¥38,980

名簿発行による余剰金		¥0
------------	--	----

申込日 2019 年 月 日

大阪臨床整形外科医会会員名簿(2019 年度版)広告掲載申込書

御 社 名

ご 住 所

ご 担 当 者

T E L

F A X

(締切 6 月末日)

申込内容 A4 版 1 頁 20,000 円

広告原稿 1. 版下同封 (いずれかに○印して下さい)
2. 後日持参又は送付

申込書並びに版下送付先

〒543-0052 大阪市天王寺区大道 4-2-21

(医) 小林会 小林整形外科診療所 TEL(06)-6779-5586

小林正之 FAX(06)-6779-5587

振 込 先

金融機関 大阪府医師信用組合 本店

口 座 名 大阪臨床整形外科医会

口座番号 普通 172225

10、JCOA 正会員 501 名達成の具体的施策

神藤理事

資料

1 1、2019 年のセラピスト研修会講師選定のお願い

上野理事

日時 2019 年 11 月 10 日(日)

場所 梅田 エーザイ会議室

4 月総会までに各大学からの講師選定をお願いします。

その後、演題名調整して、5 月申請予定しています。

担当大学は、過去の担当より、

阪大、近大、市大、大阪医大としたいです。

2018	2019	2020
近大	阪大 or 関西医大(JCOA で関西医大).	関西医大
市大	近大	阪大
大阪医大	市大	近大
奈良医大	大阪医大	市大

1 2、定款改正、規則改正について

藤本副会長

定款改正案（正会員の要件に医師会員を加える）

現行	改正案	理由
(会員の種類)		
第6条 この法人の会員は次のとおりとし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員とする。		
①正会員 この法人の目的に賛同する臨床医で大阪府下に開業又は勤務する公益社団法人日本整形外科学会会員とする。	①正会員 この法人の目的に賛同する臨床医で大阪府下に開業又は勤務する公益社団法人日本整形外科学会会員及び公益社団法人日本医師会会員とする。	公益社団法人日本医師会会員であることを追加した。
附則		
3	3 平成31年4月6日に会員であった者は、第6条第1号の資格要件を満たさない者もこの法人の会員に追加するものとする。 4 平成31年4月6日に会員であった者が、今後第6条第1号の資格要件を満たさなくなった場合も理事会の承認があればこの法人の会員資格を維持できるものとする。	定款改正前に会員であった者の除外規定。 閉院等により日本医師会会員でなくなった会員の除外規定。

会員資格等及び会費等規則改正案（正会員の要件に医師会員を加える）

現行	改正案	理由
（入会資格）		
第2条 この法人の会員は次のとおりとし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）上の社員とする。		
①正会員 この法人の目的に賛同する臨床医で大阪府下に開業又は勤務する公益社団法人日本整形外科学会会員とする。	①正会員 この法人の目的に賛同する臨床医で大阪府下に開業又は勤務する公益社団法人日本整形外科学会会員及び公益社団法人日本医師会会員とする。	公益社団法人日本医師会会員であることを追加した。
	（入会資格に関する特則）	
	第12条 平成31年4月6日に会員であった者は、第2条第1号の資格要件を満たさない者もこの法人の会員に追加するものとする。	定款改正前に会員であった者の除外規定。
	5. 平成31年4月6日に会員であった者が、今後第6条第1号の資格要件を満たさなくなった場合も理事会の承認があればこの法人の会員資格を維持できるものとする。 6. この規則は、平成31年4月6日から施行する。	閉院等により日本医師会員でなくなった会員の除外規定。

13、骨と関節の日の行事

増田会長

8月24日

ロコモ健康フォーラム 天王寺都ホテル

10月5日 午後2時

骨と関節の日 大阪メインイベント ロコモ市民講座

堺市北区（公財） 堺市産業振興センター イベントホール

14、その他

増田会長

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

小林副会長

平成31年2月末現在

一般会員 498 名、顧問 9 名、名誉会員 10 名

計 517 名

新入会

音野慶仁	医）慶組 おとのクリニック	平成 30 年 12 月 6 日入会
野上倫昭	のがみ泉州リハビリテーションクリニック	平成 30 年 12 月 17 日入会
石川貴巳	医）石川会 石川整形外科	平成 30 年 12 月 17 日入会
岩城啓好	医）啓信会中之島いわき病院	福島区 平成 30 年 12 月 25 日入会
木村宜仁	木村整形外科	浪速区 平成 31 年 1 月 19 日入会
荒木信吾	荒木整形外科医院	八尾市 平成 31 年 2 月 1 日入会

退会

反田 英之	タンダ医院	豊中市 平成 31 年 1 月 17 日	ご逝去
佐竹 兼爾	佐竹整形外科	高槻市 平成 31 年 1 月 21 日	閉院

2、スクールトレーナー制度について

長谷川副会長

スクールトレーナー制度についての経過

「スクールトレーナー」は、運動器の健康・日本協会（以下「協会」という。）学校保健委員会によれば、小・中・高等学校の教育現場で、「トレーナー」として、児童生徒の運動器疾患・障害の予防教育や保健指導等に携わる運動器医療の専門家とされている。

文部科学省「学校の健康診断の在り方等に関する検討会」の「今後の健康診断の在り方等に関する意見」（平成 25 年 12 月）には、「**運動器に関する検診の実施にあたっては、担任、保健体育の教諭、養護教諭、学校医等に対して整形外科医等の専門的な立場から、研修等によって助言を得る機会を積極的に設けることが重要である。**」と明記されていて、整形外科医等に積極的に運動器検診について助言が求められている。協会は、整形外科医等を整形外科医ではなく理学療法士にその任を託すことを企図して、この制度を「**スクールトレーナー制度**」としている。

一方で、理学療法士及び作業療法士法には、「理学療法士とは、厚生労働大臣の免許を受けて、理学療法士の名称を用いて、**医師の指示の下に、理学療法を行う業をする者をいう。**」とされているので、理学療法士に医師の指示なくその業務を行わせることは法的に大きな問題が生じる。

このような経緯で、日本整形外科学会及び日本臨床整形外科学会は、整形外科医が運動器検診について助言等を行うべきとして、この「スクールトレーナー制度」に反対の立場をとっている。

さらに、協会は「**保健指導**」の名目で理学療法士を学校での児童・生徒への保健指導的な役割を与えようとしている。その内容は、運動器疾患・障害の「予防教育」に包括される活動業務としている。日医総研ワーキングペーパー診療補助行為に関する法的整理により、保健指導は（医療の一部であるが、）医療行為ではないとされ、保健師の名を詐称しない限り、何人でも業を行ってよいとしている。

「保健指導」の内容が極めて曖昧なことと理学療法士の行う保健指導の業務が医行為に該当することはないのか、など不明な点が少なくない。

さらに、理学療法士を学校での児童生徒への保健指導的な役割を与えることに関して、他の弁護士に意見を求めたところ、保健師が「保健指導」の名目で医行為を行うことは許されるものではない。したがって、「保健指導」という名目で理学療法士等が医行為に該当することは認められない、との回答を得ている（平成 30 年 11 月 5 日、坂東総合法律事務所、弁護士 坂東司朗、谷内田誠）。**保健師の一般人を対象とした保健指導と、PT が学校現場で**

の運動器障害の相談役となることの決定的な違いは、児童生徒の運動器障害の相談が「傷病者への保健指導」＝「医療行為」（医師の指示が必要）に結びつく可能性があり、本人が傷病者であるか否かは、医師の診断がなければ確定できない。

すでに、協会と日本理学療法士協会はこのスクールトレーナー制度を全国的に広めようとして種々のパイロットスタディーを施行している。

3、運動器リハ医とリハビリテーション認定臨床医 長谷川副会長

資料

4、平成 30 年度第 2 回国際交流委員会 2/17・東京 長谷川副会長

日 時：平成 31 年 2 月 17 日（日）16：00～18：00

場 所：ロイヤルパークホテル 2F「春海」

東京都中央区日本橋蛸殻町 2-1-1

出席者：理 事 長 新井貞男

副理事長 奥村栄次郎、三宅信昌、原田 昭、長谷川利雄

担当理事 林 承弘、二階堂元重、渡邊省二

委 員 長 飯尾 純

副委員長 林 靖邦

委 員 中川種史、古岡邦人

アドバイザー 田辺秀樹、藤野圭司、鄭 仁秀

欠席者：副委員長 李 求笑

委 員 山路哲生、龍 憲司

議 題：

1. 理事会審議付帯事項

特になし。

2. 委員会決議事項

（1）第 7 回日韓臨床整形外科合同研究会について

① 大韓整形外科医師会新会長 李太淵（イ・テヨン）先生からのメールで開催日程を確認した。

- ・ 日 時：平成 31 年 6 月 1 日（土）16：00～20：30（予定）
- ・ 場 所：オークウッドプレミア仁川（インチョン）

Oakwood Premier Incheon

韓国仁川広域市延寿区コンベンシア大路 165（松島洞）

TEL：＋82－32－726－2000

② 参加人数及びご案内方法等について

本委員会関係の参加者は、メールにて確認することとした。（本委員会開催後に確認した結果、参加者 23 名（同伴者含む）となった。）

会員へのご案内は、「JCOA FAX NEWS」に掲載し、各県代表者を通じて、実施することとし、申し込みの期限は平成 31 年 3 月 15 日とした。

なお、参加者の宿泊手配は、韓国側で申し込んでいただけることとなった。

③ 研究会次第について

- ・ 同時通訳あり
- ・ 日本からの到着が遅れる可能性もあるので、開始時間を 1 時間程度遅らせることが可能か否かを韓国側に問い合わせをすることとした。
- ・ 次第（時間は韓国の原案どおり表記）

15：30～16：00 登録（記念写真用フォトゾーンあり）

16：00～16：10 開会挨拶

大韓整形外科医師会 李太淵（イ・テヨン）会長

日本臨床整形外科学会 新井貞男理事長

16：10～16：50 シンポジウム I 【医療制度】

座長：（韓国側未定）（KAOS）、原田 昭副理事長

演者 1：「韓国の医療伝達体系」

（韓国側演者未定）（KAOS）

演者 2：「日本における患者紹介と医療伝達について（仮題）」

奥村栄次郎副理事長

内容：日本の患者依頼（紹介）制度及び医療伝達体系（日本では街の整形外科からさらに大きな病院に依頼する際どのような方法なのか、どのようなレベルの病院に段

階的に上がるのか) など

16:50～17:30 シンポジウムⅡ【学術】

座長：(韓国側未定) (KAOS)、長谷川利雄副理事長

演者 1：「超音波映像誘導下神経ブロック

(Ultrasonography-guided Nerve Block)」

(韓国側演者未定) (KAOS)

演者 2：「大腿骨頸部骨折の術後連携パスについて (仮題)」

山路哲生委員

17:30～18:00 記念撮影及びカクテルタイム

18:00～20:30 食事及び公演

(18:30～19:30 食事中公演)

20:30～22:00 余興

④ 略歴、抄録及び口演スライドの提出期限について

韓国側への提出時期及び英訳、英文校正の期間を考慮し、次のとおり決定した。

- ・ 演者略歴・抄録 (A4 版 1 枚程度で準備して) を平成 31 年 4 月 16 日 (火曜日) までに事務局へメールに添付して送付する。
- ・ スライドは日本語で作成 (英文でも可) して、平成 31 年 4 月 27 日 (土曜日) までに事務局へメールに添付して送付する。

④ エクスカーションについて

今回は、日韓交流の親睦ゴルフは実施しないこととし、平成 31 年 6 月 2 日 (日曜日) の午前中の史跡研修 (観光) の希望をご案内時に確認することとした。

(2) 今後の国際交流について

韓国、台湾との国際交流の方法、時期などについて協議を行い、各国の意見も伺って決定することとした。

3. 委員会報告事項

(1) 中華民国骨科医学会 (TOA) 学術集会参加報告

原田 昭副理事長は、次のとおり報告した。

① 概要

- ・ 学術集会名：中華民国骨科医学会 107 年度第 75 次総合学術検討会

- ・ 会期：平成 30 年 10 月 27 日～28 日
- ・ 場所：台大国際会議中心（台大医院国際会議センター）
台北市中正区徐州路 2 號
- ・ 演者：原田 昭（副理事長）
- ・ 演題名「Locomotive Syndrome in Japan」
- ・ 出席者：藤野圭司（元理事長）、田辺秀樹（前理事長）、林 靖邦（委員）、
龍 憲司（委員）

② 報告

TOA (Taiwan Orthopaedic Association) の会員は約 2,300 名であり、組織は 10 の分科学会（基層学会：開業医会を含む）に分かれていて、学術集会において各分科学会が独自にシンポジウムや一般演題を管理しており、海外からの演者は 6 か国 13 名が招待されていた。

今回の演題の講演は、基層（開業医）シンポジウム前の Special Lecture V にて英語で行った。

（文責：委員長 飯尾 純）

5、第 32 回 JCOA 学術集会について

長谷川副会長

<日程>平成31年（2019年）7月14日（日）～15日（月・祝）

<場所>神戸国際会議場、神戸商工会議所

<懇親会会場>神戸ポートピアホテル <コンベンション会社>株式会社コングレ 九州支社

<テーマ>「Never stop learning-原点回帰、臨床医は一例に学ぶ-」

<組織>

- ・ 会長：田中幸博（奈良県）

副会長 岡田幸也、小椋廣次、山下文治、葦原滋、山本哲

- ・ 実行委員長 長谷川利雄

- ・ 学術委員長 山下仁司

- ・ 実行委員

財務：中野晋吾

企画：飯尾純

懇親会進行担当：藤井載樹

宿泊・エクスカーション：吉村弘治

企業セミナー等担当：堀口泰輔

教育研修会担当：堀口泰輔

産業医資格継続研修会：後藤義人

エコーハンズオンセミナー 大島正義、梁裕昭、山本善哉

スポーツ医懇談会：麻生伸一

セラピスト・ロコモコーディネーター資格継続研修会：上野憲司

＜基調講演＞ 「これからの整形外科診療の展望」 仮題

奈良医大整形外科教授 田中康仁 先生

＜特別講演＞ 「脊椎関係」

(公) 日本整形外科学会理事長 山崎正志 先生

＜教育講演＞ 「iPS 関連」

京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA)

臨床応用研究部門 細胞誘導制御学分野 教授 妻木範行 先生

＜外国人招待講演＞ (骨軟部腫瘍)

中華民国骨科医学会 理事長

陳威明先生

＜シンポジウム＞3 題

「超音波診断装置の今後の利用」 仮題 (企画：田中幸博会長)

「ロコモティブシンドロームをとりまく諸問題」 (企画：長谷川利雄)

「交通事故診療」 (企画：山下仁司先生)

＜主題＞30 題：基本的には公募

＜エコーハンズオンセミナー＞ (大島)

＜スポーツ医懇談会＞ (麻生) →学術集会プログラムに組み込む

＜セラピスト・ロコモコーディネーター資格継続研修会＞ (上野)

＜演題募集＞

2018 年 12 月 1 日～2019 年 2 月 20 日(予定)済

指定演題 40 公募演題 245 (2/26) 合計 285

＜学術集会発表演題論文＞

オンライン投稿を目指してシステムを構築中

＜資金調達状況＞

	締切	目標 A	現状 B	差異 B-A
共催セミナー収入	終了 (25 社)	32,400,000	33,696,000	1,296,000
展示会出展・書籍展示料収入	2019/5/31	8,343,000	6,750,000	-1,593,000
広告掲載料収入	2019/4/16	2,808,000	810,000	-1,998,000
合計		43,551,000	41,256,000	-2,295,000

検討中の事項

1. 学術関係

- ◇ 査読方法と査読委員会の結成 済
- ◇ シンポジウムの講師招聘 済
- ◇ 謝金規程の作成（学術研修委員会の承認済み） 済
- ◇ 演題募集要項の作製と発送（11月中旬JCOA郵便に同封） 済
- ◇ 学術集会発表演題論文；オンライン投稿（編集委員会、IT委員会と審議中）
- ◇ 利益相反文書の送付 済（利益相反管理委員会に確認済）
- ◇ 演題登録UMINシステムの申込 済（有料）

2. セミナー関係

- ◇ 産業医資格継続研修会 済
- ◇ エコーハンズオンセミナー 済
- ◇ セラピスト・ロコモコーディネーター資格継続研修会 済

3. 財務

- ◇ 中止保険の検討（災害時のリスクヘッジ）
- ◇ 銀行口座の新設（出金・現金の管理等） 済
- ◇ 公的助成の申請（中内財団 100、一般財団法人神戸観光局 200） 済

4. 企業対策

- ◇ 共催セミナー締切り2018/12/21済
- ◇ 企業展示2019 年5 月31 日（金）
- ◇ プログラム抄録集広告掲載 2019 年 4 月 16 日（火）

5. 総務

- ◇ 懇親会と懇親会の演し物
- ◇ エクスカーション・宿泊（吉村）
- ◇ 学術集会事前申込参加要項

6、平成 30 年度第 5 回一般社団法人 JCOA 理事会 12/16・東京 貴島理事

日 時：平成 30 年 12 月 16 日（日）11：00～16：00

場 所：ロイヤルパークホテル 3F「クラウン」

出席者：（26 名）

特別出席者：（4 名）

欠席者：（1 名）

議 題：

【審議事項】

1. 平成 30 年度入会承認及び退会状況について（三宅）
平成 30 年 12 月 6 日現在 5,938 名 今年度 64 名増（大阪 31 名増）
2. 平成 31 年度学術賞・学会功労賞・学術奨励賞の選考について（木島）
○学術賞 原 正文先生（福岡県）
○学会功労賞 今川俊一郎先生（愛媛県）
○学術奨励賞 門 知生先生（福井県）
JCOA 学術研修委員会より以上 3 名の先生方が候補者として選考され理事会で承認された。
3. 公益財団法人運動器の健康・日本協会の役員改選に伴う理事候補者推薦のお願いについて（新井）
JCOA より理事候補者の推薦を継続するかは、公益財団法人運動器の健康・日本協会での理学療法士が学校保健に介入するスクールトレーナー制度の問題もあり、理事長に一任することとなった。
4. 日本リハビリテーション医学教育推進機構への入会について（新井）
平成 30 年 11 月に発足した日本リハビリテーション医学教育推進機構は、リハビリ

テーション医学・医療の質を担保するための新専門医教育やリハビリテーション関連専門職の卒後教育の支援認定などを関係団体との連携を進めながら行うことを趣旨としている。

審議の結果、入会（社員団体）は見送ることに決定された。

5. アセトアミノフェン製剤添付文書の記載事項「禁忌」に関する要望について（新井）

「消化性潰瘍のある患者」、「重篤な腎障害のある患者」への投与禁忌の解除を要望する文書の提出は、他学会の動向も確認することとし、継続審議とされた。

（一企業の薬剤の禁忌改訂の是非につき要望書を発出することは、今後のこともあり慎重な対応が必要である）

6. 内保連 WG 委員の交代について（松原）

委員候補：関 東 神奈川 紺野 勉先生が承認された。

7. 各種委員会メーリングリスト管理の徹底について（西山）

定款委員会でメーリングリストの構成者に関しての規則を作成することとなった。

8. 定款、定款運用規則、会員資格等及び会費等規則の改正について（二階堂）

定款、定款運用規則、会員資格等及び会費等規則の改正が承認された。

なお、平成 31 年度定時社員総会に付議される。

主な改正点は次のとおりである。

- （1）定款の改正

任意退会と除名処分、代議員の資格喪失、利益相反指針違反者などに対する会員資格停止（会員の権利の停止）期間について明記し、除名に加えて、懲戒処分を規定する。

- （2）定款運用規則の改正

裁定委員会の設置根拠を記載し、懲戒案件を審査する委員会として、裁定委員会のほかに、利益相反小委員会を指定する。

9. 一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針及び規則の改正について（成島）

- （1）日本医学会 COI 管理ガイドラインの改正に伴う利益相反の指針及び規則の改正が承認された。なお、平成 31 年度社員総会へ付議される。

- （2）主な改正点は、次のとおりである。

- ・ 自己申告期間を 1 年間から 3 年間に変更する。
- ・ 利益相反の指針及び規則の改正を社員総会決議から理事会決議に変更する。
- ・ 施行開始は、2019 年 10 月 1 日とする。

- （3）各様式の体裁等については、引き続き、利益相反管理委員会、編集委員会、学術研修委員会にて修正を検討することとされた。

10. 利益相反小委員会規則及び不服申立審査委員会規則の改正について（成島）

日本医学会 COI 管理ガイドラインの改正に伴う COI 指針・規則の改正

本規則は理事会承認で改正できるが、総会承認が必要な指針・規則と同時に改正することとなった。

11. 第 67 回日大スポーツ医学勉強会について（新井）

日本整形内科学研究会を中心とする勉強会（テーマ：運動器エコーと fascia の位置づけ）で講演の講師の肩書きに問題があり日整会の単位申請が一部取り消しとなった。今後も注意が必要である。

12. 「運動器検診とロコモ」パンフレット配布のお願いについて（新井）

日医の学校保健委員会を通じて、運動器検診時に保護者に配布される調査票に同封して頂くパンフレット（子どもの生活行動、姿勢、ストレッチ方法等についての内容で保護者に小児期からの観察・見守りが大切であることを理解して頂く目的）を作成し、各都道府県に配布される。また、若い世代へのロコモの認知度を向上させる目的もある。→承認された。

【各種報告事項】

1. 平成 30・31 年度各種会議等実施状況（奥村）

2. 3 年以上会費未納者の会員継続について（奥村）

未納の会費の支払いが行われた。

3. 平成 30 年度日整会功労賞について（長谷川）

近藤 稔 先生（大分県） 関 隆教 先生（長野県）

小松 満 先生（茨城県） 林 承弘 先生（埼玉県）

相原 忠彦 先生（愛媛県）

以上の先生方を推薦した。

4. JCOA 学術振興会計及び一般会計の今後について（木内）

学術振興会計の正味運用財産の減少と収支の悪化についてとその対策案、JCOA 一般会計の収支の厳しい状況、内部留保、収入、予定されている新規事業、今後、支出の削減案について説明された。

① 学術振興会計は各種研究資金、資料集の発刊費用などで赤字傾向が続いており、運用財産の正味財産は僅かとなった。学術振興会計の主な収入は新入会員の入会金となっているため入会金を上げる（社員総会決議が必要）もしくは JCOA 会計の内部留保を活用する（平成 29 年度決算で内部留保 50.5%）ことが考えられる。

② 一般会計の収入源のほとんどは会費で、この 10 年間会員数は横ばいであるため会費収入の増加はあまり期待できない状況である。

③ 以上より支出の削減のため、委員会・WG の開催にあたり TV 会議の活用を努め、また、当該年度の予算の執行状況を確認しながら事業を実地する提案が出された。

5. 大地震・台風・豪雨災害へのお見舞金の基準及び災害における会員の逝去への対応に

について（木内）

災害へのお見舞金の基準の報告があり、災害における会員の逝去は慶弔規則に準ずることが報告された。

6. 運動器の健康・日本協会の動向について（新井）

（1）成長期のスポーツ障害予防講習会・講師養成講習会実施報告

（2）学校保健委員会 第4回理事会提出資料

スクールトレーナー制度のモデル地区である愛媛県、島根県、京都府の担当委員から現在までの報告があった。

（3）運動器の健康・日本協会 平成30年度第4回理事会議事録

平成31年度の審議事項として児童・生徒の運動器の健康にかかわる教育・啓発のための講演・研修事業の実地として指定地域（愛媛県、島根県、京都府）の他に公募地域として5～7地域を選考するとされ、また、「スクールトレーナー」の在り方と制度設計に関わるモデル事業の実地として2～3地域（日本理学療法士協会と連携・協力して企画・実地する）とされており、各COAで協力や、参加をしないようにとの報告があった。

7. 保健指導と医行為について（新井）

坂東司朗顧問弁護士からの回答が報告された。

「保健指導は（医療の一部ではあるが）医行為ではない」とされ、「保健師の名を詐称しない限り何人でも業として行って良い」との記述は誤りではないが、保健指導名目で、理学療法士が医行為を行うということは許されるものではない。

8. 外保連検査委員の変更について（新井）

紺野 勉先生に変更

9. 平成31年度名誉会員の推薦について（新井）

篠田 侃先生、設楽正彰先生、菱沢利行先生、八木知徳先生、林 承弘先生、橋口兼久先生、矢野隆一先生が候補者として推薦されていることが報告された。

10. 平成31年度理事会等の日程案について（新井）

11. 平成31年度事業計画の提出について（新井）

平成31年1月15日までに提出

12. 各種委員会年次報告書及び理事長諮問事項に対する中間報告提出について（新井）

平成31年3月31日までに提出

13. 第68回日本理学療法学会の後援名義使用について（新井）

14. 2018飯塚国際車いすテニス大会決算報告とお礼について（新井）

15. 「医療安全指針第2版」の訂正のお願いについて（高橋）

適切でない箇所は正誤表を用いて対応することとなった。

16. 中華民国骨科医学会学術集会報告（平成30年10月27～28日）（原田）

17. 平成 30 年度シンポジウム報告（平成 30 年 11 月 11 日）（小野）
18. 平成 30 年度 JCOA 有床診療所部会全体会議報告（平成 30 年 12 月 2 日）（松原）
19. 平成 30 年度 JCOA 有床診療所部会 診療報酬改定後の有床診療所入院報酬への影響調査報告（松原）
20. 小児運動器疾患指導管理料に関する実態調査結果報告（松原）
アンケート調査報告があった。算定件数は 0 件が 93.1%、0～2 例まででほぼ 100% とほとんど算定されていない。算定施設受信状況では足部変形が多く、先天性疾患が 44 例あった。
21. 平成 30 年度運動器検診後の受診勧告児童・生徒等の受診調査（3 年目）報告（新井）
後日、JCOA FAX NEWS で報告する予定
22. 第 31 回 JCOA 学術集会（鹿児島）収支報告書について（小倉）
23. Moving vol.30（運動器の健康・日本協会）について（新井）

【各委員会等報告事項】

1. 医業経営委員会（平成 30 年 10 月 20 日）（三宅）
提案した委員会・WG が要望事項を作成（平成 31 年 2 月中旬締め切り）
2. 医療システム委員会（平成 30 年 10 月 21 日、11 月 11 日）（小野）
3. 経理委員会（平成 30 年 11 月 10 日）（木内）
4. 医療安全・倫理委員会（平成 30 年 11 月 13 日）（高橋）
5. 災害医療チーム検討委員会（平成 30 年 11 月 14 日）（河村）
6. スポーツ・学校保健委員会（平成 30 年 11 月 25 日）（河村）
7. 学校保健運動器検診 WG（平成 30 年 11 月 25 日）（山下）
8. JCOA 有床診療所部会役員・各県代表者及び有床診 WG 合同会議
（平成 30 年 12 月 1 日）（松原）
9. 編集委員会（平成 30 年 12 月 7 日）（木島）
10. 雑誌編集 WG（平成 30 年 12 月 7 日）（木島）
11. 「Q&A 交通事故診療ハンドブック」編集 WG（平成 30 年 12 月 15 日）（山下）

【整形外科医政協議会審議事項】

1. 第 25 回参議院議員選挙における推薦について（新井）

【整形外科医政協議会報告事項】

1. 各県別加入状況（新井）
2. 執行部の動き（新井）

7、平成 30 年度第 6 回一般社団法人 JCOA 理事会 2/17・東京 貴島理事

日 時：平成 31 年 2 月 17 日（日）11：00～16：00

場 所：ロイヤルパークホテル 2F「東雲」

出席者：(26 名)

特別出席者：(4 名)

欠席者：(1 名)

議 題：

【審議事項】

1. 平成 30 年度入会承認及び退会状況について（三宅）
平成 31 年 2 月 8 日現在 5,924 名 今年度 50 名増（大阪 34 名増）
2. 平成 31 年度定時社員総会の議案について（新井）
議案が提示され承認された。
3. 平成 31 年度名誉会員候補者の推薦について（新井）
設楽正彰先生（山形）菱沢利行先生（埼玉）八木知徳先生（北海道）
橋口兼久先生（鹿児島）矢野隆一先生（栃木）の 5 名の先生が推薦され承認された。
4. 乳児股関節検診に関する協力依頼について（日本小児整形外科学会）（新井）
1 次検診（保健所、小児科医）後の 2 次検診を実施する整形外科医側に十分な受け皿を確保する必要があるため、日本小児整形外科学会（JP0A）より以下の依頼があった。
 - 1) 乳児股関節検診システムの再構築についての説明
 - 2) 2 次検診の整形外科医に行っていただきたいことの説明（身体診察とともに、X 線またはエコーによる画像診断を行う）
 - 3) 2 次検診への参加の募集
 - 4) 2 次検診にご参加いただける方、施設のリストの提供まず、各都道府県での COA で 1 名の代表者をお願いし、対応することとなった。
5. 日本運動器科学会認定セラピスト資格継続に関する審査委員について（新井）
セラピストの資格更新（5 年）の審査委員の責任者は各地区（ブロック）1 名となっているため、各地区（ブロック）1 名の責任者の選定を行う。→承認された
6. 運動器検診後の受診勧告児童・生徒の実態調査（4 年目）の実施について（新井）
昨年度と同様の内容で実施する事が承認された。
7. 第 3 回会員基本データ調査の実施について（三宅）
5 年ごとに調査をしている。第 2 回を平成 27 年（2015 年）に行っているため、第 3 回は 2020 年度に行う予定→承認された。
8. 一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反に関する規則様式、利益相反小委員会規則第 7 条様式及び不服申立審査委員会規則第 7 条様式の改正について（成島）
改正について説明があり、平成 31 年度定時社員総会での承認を得られれば、平成

- 31 年 10 月 1 日からの施行となった。
- 9・ 役員報酬規則の制定について（二階堂）
制定について説明があり、平成 31 年度定時社員総会での承認を得たのちに施行されることとなった。
- 10・ 各種委員会メーリングリスト内規の制定について（二階堂）
理事会で決定された。
- 11・ IT 戦略委員会内規の改正について（二階堂）
承認された。
- 12・ JCOA 生命共済の委託割合について（渡邊）
加入率の問題があり、変遷を経た後に現在の受託割合は明治安田生命 70%、三井生命 30%となっている。政府の規制緩和もあり加入率が下がっても保証金額を下げる必要もなくなったため事務局の煩雑さも避けるため引受会社を明治安田生命 1 社に戻していただきたい。→承認された。
- 13・ JCOA 生命共済加入率向上の取り組みについて（渡邊）
JCOA へ新規入会する会員に対して、各県代表者等から生命共済制度の案内を行っていただくことを、各県代表者会議においてお願いしたい。→承認された。
- 14・ 事務局相談役の雇用更新について（新井）
1 年毎の更新であり承認された。

【各種報告事項】

1. 平成 30・31 年度各種会議等実施状況（奥村）
2. 「運動器の健康・日本協会」参加団体からの脱退について（新井）
平成 31 年 1 月 15 日の脱退の経緯について新井理事長より報告があった。
運動器の健康・日本協会が制度化を検討し、推し進めているスクールトレーナー及びスクールトレーナー制度について、H30 年度第 3 回理事会では全会一致での反対決議を行った。運動器の健康・日本協会の理事会においても JCOA からの推薦理事として反対意見を表明してきたが、平成 31 年度の事業計画案にも本制度に関わるモデル事業の実施が盛り込まれる等、取りやめる気配は伝わってこなかった。このように運動器の健康・日本協会と本会が目指している活動に乖離があり本会理事会で何度も協議を行った結果、本会が脱退するに至った。
3. 朝日新聞社・WEBRONZA 記事について（新井）
4. 「運動器検診とロコモ」パンフレット配布のお願いの送付について（新井）
日医の学校保健委員会を通じて、運動器検診時に保護者に配布される調査票に同封して頂くパンフレット（子どもの生活行動、姿勢、ストレッチ方法等についての内容で保護者に小児期からの観察・見守りが大切であることを理解して頂く目的）を作成し、各都道府県に配布された。また、若い世代へのロコモの認知度を向上させる目的もある。
5. 第 7 回日韓臨床整形外科合同研究会について（新井）
2019 年 6 月 1 日に韓国・仁川で行われる。

6. 笠原信男先生からのご寄付について（新井）
7. 第35回飯塚国際車いすテニス大会後援及び顧問就任の許諾について（新井）
8. 平成31年度予算科目別積算根拠について（木内）
9. JCOA委員会資料（2019年1月～4月）（三宅）
10. 第5回整形外科医のためのナレッジセミナー開催状況報告・アンケート結果報告（原田）
11. 第2回災害医療チーム研修会報告（平成31年1月6日）（河村）
12. 平成30年度JCOA研修会（病院部会主催）報告（平成31年2月10日）（小倉）
13. スクールトレーナー制度について（新井）
14. 平成30年度シンポジウム報告（第2報）（小野）

【各委員会等報告事項】

1. 利益相反管理委員会（平成30年10月5日～12月3日、平成30年12月4日～平成31年1月15日、1月20日～1月28日）（成島）
2. 編集委員会（平成30年12月7日、平成31年2月6日）（木島）
3. 雑誌編集WG（平成30年12月7日、平成31年2月6日）（木島）
4. 「Q&A 交通事故診療ハンドブック」編集WG（平成30年12月15日、平成31年2月5日）（山下）
5. 自賠・労災委員会（平成30年12月23日）（山下）
6. 産業医委員会（平成31年1月18日）（高橋）
7. 広報・福祉委員会（平成31年1月27日）（渡邊）
8. 医療システム委員会（平成31年2月3日）（小野）
9. 医療システム委員会、日整会広報・渉外委員会合同委員会（平成31年2月3日）（小野）
10. 社会保険等検討委員会（平成31年2月3日）（松原）
11. スポーツ・学校保健委員会（平成31年2月10日）（河村）
12. 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会（平成31年2月11日）（貴島）
13. 経理委員会（平成31年2月16日）（木内）

【参考資料】

1. 平成30年度第4回理事会議事録（素案修正済み）（平成30年10月28日）（P195）
2. 平成30年度第5回理事会議事録（素案）（平成30年12月16日）（P203）

【整形外科医政協議会審議事項】

1. 第25回参議院議員通常選挙の推薦について（新井）（P215）

【整形外科医政協議会報告事項】

1. 鹿児島県整形外科医会・整形外科医政協議会 新春保険研修会報告

- (平成 31 年 1 月 12 日) (新井)
2. 各県別加入状況 (新井)
 3. 執行部の動き (新井)

8、第 2 回 JCOA 災害医療チーム研修会

1/6・東京 宮崎理事

日時：平成 31 年 1 月 6 日 (日) 11:00～16:00

場所：東京都医師会館 5 階会議室

参加者：JCOA 会員 37 名と事務員数名

内容：日本臨床整形外科学会災害医療チーム(JCOADiT)について

西日本豪雨災害派遣経験(兵庫県)(阪神・淡路大震災から 24 年)

(2F の屋根まで浸水した倉敷市の整形外科は再開のめどが立たず)

熊本地震の現地状況とその後(2 施設が建物工事中)

下肢静脈エコー検査による DVT 診断

災害時のトリアージについて(赤、黄、緑、黒)*黒の場合は特記事項に記入

実技研修「BLS について(CPR と AED)」(CPR、AED 共に慣れておく事が大事。)

厚労省災害派遣チーム(DMAT)

日医災害医療チーム(JMAT)

大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)

日本臨床整形外科学会災害医療チーム

(JCOADiT: Japan Clinical Orthopaedics Association Disaster Team)

平成 30 年度より現地派遣チーム結成。組織のメンバーは、2 代目の先生が主となって開業されている医療機関の大先生、またはその若先生、複数の医師と開業されている先生方、大学その他の施設から応援してもらえる先生方が主な対象。

1 チーム原則、医師 2 名と医療従事者とロジ(後方支援担当、事務職員)

最低 2 泊 3 日の滞在

JCOADiT は JCOA でなければできない活動を考えており、
日医災害医療チーム（JMAT）と合流することは現在のところ考えていない。
具体的には DMAT、JMAT の活動後の被災医療機関（主に JCOA 会員医療機関）への支援。

各県 COA に災害対策委員会設置と実務担当連絡者名簿を依頼中。

9、平成 30 年度第 6 回医療システム委員会 2/3・東京 宮崎理事

日 時：平成 31 年 2 月 3 日（日）9：00～13：00

場 所：ステーションコンファレンス東京 6 階「605A」

東京都千代田区丸の内 1-7-12

出席者：理 事 長 新井貞男

副理事長 三宅信昌、長谷川利雄

担当理事 小野直司、鬼川 温、西山 徹

委 員 長 松本光司

副委員長 吉田政史、三輪雅彦

委 員 石澤暢浩、笠原悌司、羽柴謙作、宮崎 浩

アドバイザー 前中孝文、角南義文、相原忠彦

欠席者：アドバイザー 藤野圭司

【理事会・委員会報告事項】

1. 平成 30 年度第 5 回医療システム委員会議事録（平成 30 年 11 月 11 日）

吉田政史副委員長は、次の事項等について報告した。

（1）日整会広報・渉外委員会メンバー

次期委員として、西山 徹理事、前中孝文アドバイザー、三輪雅彦副委員長を推薦することとした。

（2）「医業類似行為による健康被害」全国 1 日調査について

西山 徹理事がまとめ作業中である。

2. 平成 30 年度第 5 回 JCOA 理事会報告（平成 30 年 12 月 16 日）

小野直司理事は、次の事項等について報告した。

（1）公益財団法人運動器の健康・日本協会の役員改選に伴う理事候補者推薦について

理事長一任となり、理事長判断で脱退することとした。

- (2) アセトアミノフェン製剤添付文書の記載事項「禁忌」に関する要望について
1つの薬剤に対して意見を出すのはいかなるものかという意見があり、継続審議とした。
 - (3) 各種委員会等メーリングリスト管理の徹底について
定款等検討委員会とIT戦略委員会で検討中である。
 - (4) 大地震・台風・豪雨災害へのお見舞金の基準及び災害における会員の逝去への対応
一般会計から支出されるお見舞金の金額が提示された。会員が災害で逝去された場合は、慶弔規則による。大規模災害で義援金を募った時には、義援金の枠内で検討する。
 - (5) 平成30年度シンポジウム報告（平成30年11月11日）
理事会で当該シンポジウムのブルーレイディスクが配布された。
 - (6) 第31回JCOA学術集会（鹿児島）収支報告について
決算規模が8千万円超で収支は良好であった。
3. 平成30年度第3回広報・渉外委員会（平成30年11月19日）
笠原悌司委員は、次の事項等について報告した。
- (1) 記者説明会進捗報告
記者数が過去最高であった。
 - (2) 来年の記者会見のテーマ
「大腿骨近位部骨折とロコモティブシンドローム」に決定した。
 - (3) いわゆるシリーズの転載依頼
JCOA ウェブサイトに転載する許可が出た。
 - (4) 医師のための保険診療基礎知識
日整会からの要望があった、もっと簡単な見開きの作成は合同委員会で説明する。
 - (5) 「日本整形内科学研究会」について
小野直司理事からJCOAとしては問題視していることを報告した。
日整会は理事会で検討しているが、日整会ウェブサイト上で日整会とは無関係な団体と広報している。
4. JCOA 委員会資料 2019 年 1 月～4 月
三宅信昌副理事長は、JCOA 委員会資料を報告した。
資料使用希望時は、三宅副理事長に許可を求める。

【理事会審議付帯事項】

特になし

【委員会決議事項】

1. 平成 30 年度 JCOA シンポジウムについて

- (1) JOA 広報委員会との合同委員会で報告することとした。
- (2) なぜ受領委任が、あはきに導入されたかについては、幸野庄司先生（健康保険組合連合会理事）の資料が良くまとまっていた。
- (3) アンケート結果でシンポジウムの内容はわかりやすかった、役に立ったという回答がほとんどであった。

アンケートの結果は、吉田政史副委員長が A4 用紙 1 枚にまとめて次回シンポジウムに資料として配布することとした。

- (4) 現役政治家の参加がなかったので、次回シンポジウムに出席していただく政治家を整医協で検討していただくこととした。
- (5) 健康保険組合の原 公美氏と公益社団法人日本柔道整復師会の三橋裕之氏が話し合いながら作成した、柔整とあはきのかかり方のパンフレットを、松本光司委員長が提示した。

すでに健保組合に配布済みであり、ダウンロードして患者に配って差支えないことを確認した。

(6) 平成 31 年度シンポジウムの予定

- ・ 日 付：平成 31 年 11 月 17 日（日）
- ・ 場 所：品川プリンスホテル
- ・ テーマ：医療機関と医業類施行為との併給禁止、療養費問題（労災も含む）についてなどが提案された。

- (7) 会場については、事務局に確認を依頼することとした。

2. 理事長諮問事項に対する中間報告について

各諮問事項の担当者は、平成 31 年 2 月末日までに、報告案を松本光司委員長に提出することとした。

(1) 代替医療・統合医療の研究、現状の把握

前中孝文アドバイザーが担当することとした。

- ・ 厚労省医政局は、「統合医療」のあり方に関する検討会を計 5 回開催した。
- ・ この検討会の結論は、今後統合医療に関する科学的知見が集積されて、詳細が明らかにされていくことが必要だということ。
- ・ 統合医療情報発信サイトが作られた。
- ・ 前中孝文アドバイザーは、統合医療のイメージ図を提示した。

(2) 厚生労働省の療養費検討委員会委員との連携

松本光司委員長が担当することとした。

- ・ 療養費検討委員会は平成 24 年から計 14 回行われた。
 - ・ 平成 29 年に施術管理者の要件について決めた。柔整師は資格取得後、すぐ開業して施術管理者になることができたが、一定以上の実務経験と、2 日間 16 時間の研修を受けてからでないと開業できなくなった。
 - ・ かなり反対意見を述べたが、実務経験には病院や診療所での勤務も含まれることになった。さらに、医療機関で学ぶのはマナーとか医療倫理であって、リハビリの仕事でなく、運転手でもいいということになった。雇用した場合、実務経験期間証明書を発行しなければならない。
 - ・ 研修の受講内容は、「職業倫理について」「適切な保険請求」「適切な施術所管理」「安全な臨床」である。これは公益財団法人柔道整復研修試験財団等が主に行う。
 - ・ 療養費の支給対象から「亜急性の外傷」の文言は無くなり、「外傷性が明らかな」になった。「外傷性であることが明らかな」にするよう、松本光司委員長が意見したが、変更はされなかった。負傷の原因は、いつ、どこで、どうして負傷したかを施術録に記載しなければならなくなった。
 - ・ 施術毎の署名は、議論の結果先送りになった。
 - ・ 「柔道整復運動後療料」という項目が新設された。これは骨折、不全骨折又は脱臼に係る施術を行った後、運動機能の回復を目的とした各種運動を行った場合に算定できるものである。
- (3) 医業類似行為有害事象・事例の収集と検討
- 吉田政史副委員長が担当することとした。
- ・ 平成 30 年 4 月 1 日から同年 12 月 31 日までの報告をまとめる。
 - ・ 1 日だけの全国調査をまとめる。
- (4) 柔整師問題解決のための方針の検討
- 松本光司委員長が担当することとした。
- ・ 整形外科医が柔整を問題視する理由は、健康被害の発生、保険医療制度の混乱、医業と医業類似行為の境界が曖昧である、ビジネス指向で保険医療財源が食い物にされているなどが考えられる。不正請求が容易で闇の勢力につけこまれやすく、国は柔整師の数のコントロールを放棄している。
 - ・ 我々の方向性は、「柔道整復とは何か？」この質問を繰り返すこと、療養費の枠組みを堅持し現物給付化を阻止することである。そのために 1 部位からの負傷原因記載、施術ごとの申請書署名を続けて求めていく。そして、保険者と連携し、また、被保険者や他科医師に啓発する。

(5) あはきの受領委任払い導入後の影響の検討

平成 31 年 1 月からはじまったばかりなので、まだ検討できない。

(6) 柔道整復師の卒後研修制度の影響と問題点の整理

松本光司委員長が担当することとした。

- ・ 整形外科に就職希望で来る可能性がある。
- ・ 柔整師の経歴を隠したまま働いて、2 年後に実務経験期間証明書記入を依頼される可能性がある。
- ・ 実務経験期間証明書の「柔道整復の施術に従事したことを証明します」の項目は無くなる予定である。

(7) スクールトレーナー制度について検討

長谷川利雄副理事長が担当することとした。

- ・ JCOA は反対の立場である。
- ・ 日整会と日医とすりあわせて反対しなければならない。これは理事会の仕事であり、委員会の仕事ではない。
- ・ 本委員会としては、合同委員会でこのことを問題視していることを伝える。
- ・ 会員に理解を促す。

3. 医師のための保険診療基礎知識 医業類似行為 Q&A

(1) 理解しやすいサマリーを作成するよう日整会広報・渉外委員会から要請があった。

(2) 平成 31 年 3 月上旬までに、草案を笠原悌司委員と小野直司理事で作成し、メーリングリストで提示することとした。

(3) 理事会には報告するだけで良いことを確認した。

4. 初診での療養費同意書交付料算定について

相原忠彦アドバイザーは、次の事項について報告した。

(1) 愛媛県の支払基金の本部の通知では、書式が整っていれば良いと判断している。

(2) 初診での同意書交付をしているのは、ペインクリニック、内科、在宅医療を行っている医療機関など一定の施設に集中している。

(3) 愛媛県では平成 30 年 9 月以降の同意書交付数の増減をみている。

(4) 無診察同意を禁じた保険医療機関及び保険医療費担当規則第 17 条「保険医は、患者の疾病又は負傷が自己の専門外にわたるものであるという理由によって、みだりに、施術業者の施術を受けさせることに同意を与えてはならない」に反する可能性がある。このことについて、質問主意書で質問することを検討する。

(5) 日医の自賠労災委員会にでている松崎先生にこの件について依頼することを検討する。

- (6) 療養費同意書を交付した医師が、民事裁判で責任を問われる可能性はある。
- (7) 適当な治療手段がないということではきの施術が始まるが、初診でその判断がされることに矛盾がある。

5. 全国柔整師協会からの通知書

鬼川 温担当理事は次の事項等について報告した。

- (1) 整形外科医が接骨院での施術に同意しなかったことに対し、全国柔整師協会から通知書が、当該医師に送付された。
- (2) 対応は通知書に対しては無視をすることになった。再度通知があった場合は県医師会で対応する予定である。

本委員会としても、対応はしないこととした。

6. 筋膜リリースについて

笠原悌司委員は、次について報告した。

- (1) 角南義文アドバイザーから筋膜リリースについて質問があった。
- (2) 本委員会の宮田重樹前委員に解説を依頼し、返答が得られた。

7. 第4回広告検討会

日整会広報・渉外委員会との合同委員会で説明することとした。

8. 大島九州男議員の国会発言

松本光司委員長は、発言内容について、次のとおり報告した。

- (1) 患者照会に関して、調査費用の助成がなされていることに言及し、柔整師への人権侵害であり、人権侵害委員会の設置を考えるべきと述べた。
- (2) 接骨院における超音波画像検査について、養成施設の授業で検査について教えるべきであると述べた。

9. サイボウズ終了に伴うデータ引っ越しについて

- (1) 松本光司委員長が、サイボウズにあるデータを Nextcloud (ネクストクラウド) に移行作業中である。
- (2) 添付可能なメーリングリストに資料を添付した場合、Nextcloud にも必ず資料を保管する。

10. 整形外科卒後研修 Q&A や専門医試験に「医業類似行為」を取り入れることについて

- (1) 日整会広報・渉外委員会との合同委員会を始めた理由は、日整会会員にも柔整の真の姿を知ってほしいためである。
- (2) 平成30年度の専門医試験に「ロコモ」が取り上げられ、研修医の関心をひいた。このことから、この専門医試験に「医業類似行為」を取り入れてもらうことにより、柔整問題にも関心を持ってもらえることが期待できる。

(3) 今まで何回か、医業類似行為に関する例題を提出したが、まだ採用されてはいない。

今後も専門医試験に「医業類似行為」を取り入れてもらうよう日整会に働きかけていくこととした。

(4) 日整会代議員に専門委試験問題作成の依頼があるので、これを利用することや、日整会広報・渉外委員会を含めた各種委員会にも働きかけていくこととした。

11. 次回委員会日程

次回は、次のとおり開催することとした。

平成 31 年度第 1 回医療システム委員会

日時：平成 31 年 5 月 19 日（日）11：00～15：00

場所：JCOA 事務局 2 階「会議室」

10、平成 30 年度医療システム委員会、日整会広報・渉外委員会合同委員会

2/3・東京 宮崎理事

日 時：平成 31 年 2 月 3 日（日）13：00～15：00

場 所：ステーションコンファレンス東京 6 階「605A」

東京都千代田区丸の内 1-7-12

出席者：日整会広報・渉外委員会

担当理事 富士武史

委員長 柳本 繁

副委員長 岸田俊二

委 員 浅野 聡、岩崎幹季、緒方 徹、後藤昌子、中島祐子、
瀧田寿彦、

アドバイザー 石橋英明、大江隆史、中村耕三

事務局 宮川敏行

JCOA 医療システム委員会

理事長 新井貞男

副理事長 長谷川利雄

担当理事 小野直司、鬼川 温、西山 徹

委員長 松本光司

副委員長 吉田政史、三輪雅彦

委 員 石澤暢浩、笠原悌司、羽柴謙作、宮崎 浩

アドバイザー 前中孝文、角南義文、相原忠彦

欠席者：日整会広報・渉外委員会

委 員 青田恵郎、中村正則、山口智志

JCOA 医療システム委員会

アドバイザー 藤野圭司

【報告事項】

1. 平成 30 年度 JCOA シンポ「あはき受領委任導入の影響」について

- (1) シンポジウムの基調講演 2「療養費受領委任に対する保険者の対応について」の映像を上映し、ブルーレイディスクを配布した。
- (2) 松本光司委員長、吉田政史副委員長、笠原悌司委員、羽柴謙作委員、宮崎 浩委員が講演、シンポジウムの内容を報告した。
- (3) 松本光司委員長が、療養費、療養費支払方法について説明した。
- (4) 相原忠彦アドバイザーが、無診察同意を禁じた保険医療機関及び保険医療養担当規則第 17 条について説明した。

2. 厚生労働省柔整療養費検討専門委員会における議論の経緯、現時点での報告

松本光司委員長は、次の事項等について報告した。

- (1) 厚労省療養費検討専門委員会は、平成 24 年から計 14 回行われた。
- (2) 平成 29 年に施術管理者の要件について決めた。

柔整師は資格取得後、すぐ開業して施術管理者になることができたが、一定以上の実務経験と、2 日間 16 時間の研修を受けてからでないと開業できなくなった。

- (3) かなり反対意見を述べたが、実務経験には病院や診療所での勤務も含まれることになった。さらに、医療機関で学ぶのはマナーとか医療倫理であって、リハビリの仕事でなく、運転手でもいいということになった。

雇用した場合、実務経験期間証明書を発行しなければならない。

- (4) 研修の受講内容は、「職業倫理について」「適切な保険請求」「適切な施術所管理」「安全な臨床」である。これは公益財団法人柔道整復研修試験財団等が主に行う。
- (5) 療養費の支給対象から「亜急性の外傷」の文言は無くなり、「外傷性が明らかな」になった。「外傷性であることが明らかな」にするよう、松本光司委員長が意見したが、変更はされなかった。

負傷の原因は、いつ、どこで、どうして負傷したかを施術録に記載しなければならなくなった。

- (6) 「柔道整復運動後療料」が新設された。

これは骨折、不全骨折又は脱臼に係る施術を行った後、運動機能の回復を目的とした各種運動を行った場合に算定できるものである。

最初は施術側から「運動療法料」という項目が示されたが、事前交渉の過程で「柔道整復運動後療料」に変更された。

3. 平成 30 年度日医代議員会で柔整師の超音波に関する質問

相原忠彦アドバイザーは、次の事項等について報告し、日整会の医師が柔整師の前で講演をしないよう要請した。

- (1) 超音波検査を柔整師が行うことはいいのかという質問をした。
- (2) 日医は患者に検査結果を説明することは医師法違反であると回答した。
- (3) 超音波検査をすること自体に対しては回答がなかった。

【委員会決議事項】

1. 柔整師の超音波検査問題

厚生労働省と日本医師会に対し、日整会と JCOA の連名で要望書を出したが、まだ回答はない。

2. 医師のための保険診療基礎知識 医業類似行為 Q&A

次のとおり、協議を行い、平成 31 年 4 月 6 日の日整会広報・渉外委員会に改訂案を提示することとした。

- (1) 分かりやすいサマリーの草案を笠原悌司委員が提示した。また、質問に対する回答の修正案を提示した。
- (2) 後藤昌子日整会委員から、重要な部分を赤字にしたり、下線を引いたほうが目を引くのではないかという意見があった。

これに対し、日整会事務局 宮川敏行氏は、配布する印刷物は無理だが、日整会ウェブサイト上に掲載する PDF 版はカラーにすることが可能であると回答した。

- (3) あはきの受領委任についても掲載する予定である。

3. NHK「あさイチ」で柔整師が児童に指導？

NHK に要望書を出したが、返答は無かった。しかし、その後の放送では柔整師が出ることはなくなった。

4. 日本整形内科学研究会について

先日、日整会の方から日整会とは関係ない団体であるとコメントしていただいた。

5. 第 4 回広告検討会について

時間がないため、省略した。

6. スクールトレーナー制度について

- (1) スクールトレーナー制度の問題点について、小野直司理事が説明した。
- (2) JCOA としては反対の立場であることを示し、医療システム委員会の検討事項の一つになっていることを伝えた

7. 平成 31 年度シンポジウム、合同委員会の日程について

次の日程について確認した。

- (1) 平成 31 年度 JCOA シンポジウム

日程：2019 年 11 月 17 日（日）

場所：品川プリンスホテル（予定）

(2) 平成 31 年度合同委員会

日程：2020 年 2 月 2 日（日）

場所：未定

1 1、2019 年 OCOA ゴルフコンペ（福利厚生部会）の開催について 宮崎理事

第 69 回（春季）2019 年 6 月 30 日（日）

茨木カンツリー倶楽部（西コース）

5 組 20 名（予定）

第 70 回（秋季）2019 年 11 月 4 日（祝、月）

泉ヶ丘カントリークラブ（葛城、岩湧コース）

5 組 20 名（予定）

1 2、平成 30 年度 災害対策委員会活動報告

宮崎理事

(1) 平成 30 年 3 月 10 日 OCOA 災害委員会監修

防災・減災ハンドブック

「災害時対応に関するアンケート結果と今後の防災への取り組み」の発行

(2) 平成 30 年 3 月 11 日 阿倍野区民センター：参加者 970 名（神藤）

「2018 防災フェスタ in あべの」記念講演 ―医師の立場から見た災害現場―

(3) 平成 30 年 8 月 7 日～10 月 27 日 大阪北部地震に関する重要調査実施

(回答数：医師 97 名、スタッフ 454 名)

(4) 平成 30 年 9 月 9 日～9 月 15 日 台風 21 号に関する重要調査実施

(回答数：医師 92 名)

(5) 平成 30 年 9 月 15 日 阿倍野区役所：参加者 540 名（神藤・宮崎・邊見）

防災・減災のための区民公開講座（区役所・消防・三師会共催、OCO A 後援）

「必ずやってくる南海トラフ巨大地震、あなたは生き残れますか？」

―防災・減災に対する知識をみんなで学びましょう―

(6) 平成 30 年 10 月 1 日～10 月 6 日 台風 24 号に関する重要調査実施

(回答数：医師 51 名)

- (7) 平成 30 年 10 月 28 日 阿倍野区苗代小学校：参加者 370 名（神藤）
まちなか防災訓練への参加（阿倍野区役所・消防署・三師会後援）
「王子地域まちなか防災訓練・避難所開設運営訓練」
- (8) 平成 30 年 11 月 3 日～4 日 国立病院機構 大阪医療センター（神藤）
後援：大阪府医師会、大阪府
平成 30 年度大阪府災害コーディネータ研修
- (9) 平成 30 年 12 月 8 日（土）リーガロイヤルホテル大阪（神藤）
演題：「大規模災害時の医師会の対応と課題」
対象：港区医師会員 約 40 名程度
- (10) 平成 30 年 12 月 20 日～平成 31 年 1 月 7 日 津波被害に関する意識調査実施
（回答数：医師 108 名、スタッフ 528 名）
- (11) 平成 31 年 1 月 6 日（日）東京都医師会館（宮崎）
第 2 回 JCOA 災害医療チーム研修会 （参加者 35 名）
内容：日本臨床整形外科学会災害医療チームの主旨
災害医療派遣において重要なこと（阪神・淡路大震災など）
平成 28 年熊本地震の現地状況とその後
下肢静脈エコー検査による深部静脈血栓症（DVT）診断の経験
災害時のトリアージについて
実技研修「BLS について（CPR と AED）」
- (12) 平成 31 年 2 月 14 日 阿倍野区役所（神藤）
災害時医療救護本部の設置・運営に関する訓練
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1 日 時 | 平成 31 年 2 月 14 日（木）16 時～17 時 30 分 |
| 2 場 所 | 阿倍野区役所 1 階 第 4 会議室 |
| 3 内 容 | |
- (1) 阿倍野区医療救護本部の設置にかかる当課からの連絡に対する応答
(2) 阿倍野区医療救護本部の設置にかかる担当理事等の参集
(3) 阿倍野区医療救護本部の設置・設営に関する意見聴取
(4) その他
- (13) 平成 31 年 3 月 31 日（日）大阪府医師会館（神藤）
平成 30 年度 大阪府医師会 JMAT 研修
- (14) 平成 31 年 7 月 14 日～15 日 日本臨床整形外科学会学術集会・
まほろば関西

5 シンポジウム（神藤）

テーマ 05-2 どう備える？頻発多様化する自然災害と医療機関

演題名 自助・共助で実現する地域防災・減災目指して

～大阪臨床整形外科医会 災害対策委員会の活動と今後の目標～

主題 13（神藤）

災害医療における整形外科医の役割

演題名 災害区民公開講座に参加した一般住民に対して行った

防災・減災に対する意識調査と今後の対策

主題 13（宮崎）

災害医療における整形外科医の役割

演題名 大阪北部地震による被害調査結果

主題 13（宮崎）

災害医療における整形外科医の役割

演題名 台風 21 号による被害調査結果

主題 13（邊見）

災害医療における整形外科医の役割

演題名 南海トラフ巨大地震に伴って発生する津波被害に関する

意識調査と今後の対策

13、平成 30 年度第 2 回社会保険等検討委員会 2/3・東京 神藤理事

日 時：平成 31 年 2 月 3 日（日）11：00～15：00

場 所：ステーションコンファレンス東京 6 階「605B」

東京都千代田区丸の内 1-7-12

出席者：理事長 新井貞男

社会保険等検討委員会

副理事長 奥村栄次郎、三宅信昌

担当理事 松原三郎、成島勝之助、西本 章

委 員 長 山田明彦

副委員長 金淵隆人、葛原 啓

委 員 丸山晴久、小出敬之、神藤佳孝、岡田祐司、鬼木泰成

アドバイザー 中村 尚、子田純夫、浦門 操

外内保連 WG

担当理事 松原三郎、成島勝之助、西本 章

委員長 五味渕聡志

副委員長 寺門 淳

委員 湯山琢夫、丸山晴久、佐藤 重、鬼木泰成

アドバイザー 田辺秀樹、平泉 裕、橋口兼久

欠席者：社会保険等検討委員会

アドバイザー 角南義文

外内保連 WG

委員 三橋成行、紺野 勉

アドバイザー 藤野圭司

議 題：

1. 理事長、副理事長、担当理事挨拶

(1) 新井理事長より、運動器の健康・日本協会よりの脱会理由について、次期診療報酬改定に向けて、厚労省との折衝経過について説明があった。

(2) 奥村、三宅副理事長より挨拶があった。

(3) 松原、成島担当理事より挨拶があった。

2. 平成 30 年度委員会活動について

(1) 平成 30 年度医業経営実態調査（2018 年 4 月～6 月レセプト調査）結果報告

金淵副委員長より、2018 年 4 月～6 月レセプト調査について結果報告があった。無床診ではレセプト枚数は増加したが、一件当たりの点数、通院日数も減少したため、1 施設当たりの診療報酬は横ばいであった。有床診でも同じ傾向であったが、入院の 1 件当たりの点数は増加した。手術点数の増加によると思われる。病院は 1 施設当たりの診療報酬額は減少した。

(2) 平成 30 年度メディアス調査について

中村アドバイザーより、平成 29 年度のメディアス調査について報告があった。全体の医療費は平成 13 年度より、14.5%増加した。整形外科は 41.4%増加しているが、施設数の増加によるものである（施設数は 27.5%増加）。1 日あたりの医療費は 23.4%増加したが、受診延べ日数は 8.8%減少した。

(3) 平成 30 年度 JCOA 保険審査委員会議について

岡田委員より、JCOA 保険審査委員会議の前半の集計結果、山田委員長より、後半の集計結果が報告された。

(4) 平成 30 年度全国整形外科審査委員会議について

葛原副委員長より、全審会の報告があった。参加人数が 300 人を超え徐々に増えているが、当分は現会場で開催することとなっている。

(5) 平成 32 年度診療報酬改定について

① 内・外保連報告

五味渕外内保連 WG 委員長より、2018 年度内保連第 2 回社員総会、および 2 回のリハビリテーション関連委員会についての報告があった。日本脳神経外科の加盟の経過や、診療報酬改定に対する内保連の取り組み方の変更、リハビリテーション関連委員会の運営が改善されたことについて説明があった。

寺門外保連 WG 副委員長より、外保連に関して報告があった。

② 外保連要望事項の入力事項の検討

社保委員会、外保連 WG 担当の入力事項について再確認を行い、2 月末までに入力を完了、3 月末までに提出することとなった。

① 上腕、大腿部以遠の伝達麻酔の手技（金淵、奥村、中村）

② 再診時の他医 MRI,CT の読影料（寺門、三宅、佐藤）

③ 小児運動器疾患指導管理料の適応年齢の引き上げ（葛原、西本、鬼木）

④ エコーガイド下の伝達麻酔加算（松原、小出、岡田）

③ 内保連要望事項の入力事項の検討

① 骨代謝マーカーの算定基準の変更（五味渕、丸山、三橋）

② 関節液検査の新設（山田、成島、**神藤**）

④ 各委員会からの入力事項の最終チェックについて

各委員会からの要望事項の入力チェックについて以下のように分担を決定した。

JCOA 関連

① 運動器不安定症訓練法の新設（金淵）

② 小関節骨折に対するテーピング（葛原）

③ 運動器物理療法の新設（葛原）

④ 神経幹内注射の手技料増額（小出）

⑤ 上肢伝達麻酔の手技料の増額（松原、西本）

⑥ 消炎鎮痛処置の複数箇所の算定（金淵）

⑦ テーピングを小関節にも適応（寺門）

⑧ 神経ブロックとトリガーポイント注射との同時算定（山田）

⑨ 腱鞘内注射の増点（湯山）

⑩ 骨折非観血的整復術の複数加算（山田）

日本運動器学会関連

- ①緊急入院時の検査（MRI・CT）を包括から除外（丸山）
- ②有床診療所の地域包括ケア病床の新設（松原、西本）
- ③休日リハビリテーション実施加算の新設（岡田）
- ④運動器リハビリテーション小児加算（神藤）
- ⑤外来リハビリテーションでの初期加算、早期加算の適応疾患拡大（鬼木）
- ⑥脳リハⅡと運リハⅠの点数格差の是正（佐藤）
- ⑦入院時の運動器リハビリテーション標準算定要件の緩和（松原、西本）
- ⑧特定疾患管理料の対象疾患の拡大（神藤）
- ⑨運リハの起算日の変更（五味渕）
- ⑩急性増悪の規定変更（ロコモ 25 で 5 以の場合）（小出）
- ⑪早期リハビリテーション加算（日帰り手術後の早期リハ）（丸山）

3. 平成 31 年度委員会活動予定について

（1）社保委員会事業計画

松原担当理事より、事業計画の説明があった。

（2）平成 31 年度 JCOA 保険審査委員会議（平成 31 年 9 月 7 日）

① 討議内容

例年通り JCOA 保険審査委員に対し審査上検討を要する事案（注意を要する請求事例、再審査事例）を募集することとなった。締め切りは 6 月 30 日として、岡田委員、山田委員長が次回の社保委員会までに問題を作成することとなった。また同時にエコー検査を認めている疾患、検査頻度についてアンケート調査をすることとなった。

② 役割分担

前半は座長 金淵副委員長、司会 岡田委員、後半は座長 葛原副委員長、司会 山田委員長で討議を行うこととなった。

（3）平成 31 年度全国整形外科保険審査委員会議への対応

葛原副委員長が全審会 WG 委員長を退任することになるが、引き続き協力することとなった。

4. 平成 30 年度理事長諮問事項中間報告について

山田委員長より、理事長諮問事項中間報告があった。

5. 小児運動器疾患指導管理料に関する実態調査結果について

松原担当理事より、小児運動器疾患指導管理料算定状況アンケートの結果報告があった。回答率は 11.2%であり、算定件数は 93.8%が 0 件であり、現実に則さない年

齢設定であることが浮き彫りになった。4年後の改定に向けて2年後に再調査の予定である。

6. JCOA 委員会資料（2019 年 1 月～4 月）

三宅副委員長より、委員会資料として、都道府県別整形外科診療報酬平均点数、運動器リハビリテーション料の推移等の説明があった。

7. 平成 30 年度第 2 回日整会整形外科症例調査・検討委員会報告

金淵副委員長より整形外科症例調査・検討委員会の報告があった。まず入院手術の DB の構築のため、研修病院での入力が始まることになる。

保存療法に関しては今のところ DB 構築の予定はない。

8. スイッチ OTC 医薬品の候補となる成分の要望に対する見解の提出依頼について

メナトレノンが OTC 医薬品となることへの JCOA としての見解について討議した。

9. その他

(1)スクールトレーナー、要介護認定患者に対する 150 日越えの運動器リハビリテーションの問題点、新発売となる抗スクレロシン抗体（イベニティ）の使用法について検討した。

(2)2022 年度 JCOA 学術集会が徳島で開催されることにつき、岡田委員より協力の要請があった。

(3)次回委員会は、7 月 21 日開催予定とした。

14、平成 32 年度診療報酬改定要望資料提出状況

神藤理事

提出日	社保委 チェック	担当 委員会	要望名	種類	社保委担当者	提出団体
		病院	緊急入院時の検査（MRI・CT・検査）を 包括から除外	新設	丸山	運動器科学会
		病院	外来リハビリテーションでの初期加算、 早期加算の条件の適応疾患の拡大	改正	鬼木	運動器科学会
H30.02.03		有床診	神経幹内注射の手技料の増額	改正	松原 西本 小出？	JCOA
H30.02.03		有床診	上肢伝達麻酔の手技料の増額	改正	松原 西本	JCOA

		有床診	有床診療所の地域包括ケア病床の新設	新設	松原 西本	運動器科学会
		有床診	休日リハビリテーション実施加算の新設	新設	松原 西本	運動器科学会
		有床診	入院時の運動器リハビリテーション 標準算定要件の緩和	改正	松原 西本	運動器科学会
		無床診	小関節（周辺）骨折に対する テーピング	新設	葛原 寺門？	JCOA
		無床診	運動器物理療法の新設	新設	葛原	JCOA
		無床診	消炎鎮痛処置の複数箇所の算定	改正	？	JCOA
		無床診	テーピング（絆創膏固定術）を 小関節にも適応	改正	寺門	JCOA
		無床診	神経ブロックとトリガーポイント 注射との同時算定	改正	山田	JCOA
		無床診	腱鞘内注射の増点	改正	湯山	JCOA
		無床診	特定疾患管理料の対象疾患の拡大	改正	神藤	運動器科学会
		社保	上腕、大腿部以遠の伝達麻酔の手技	新設	金淵 奥村 中村	JCOA
		社保	エコーガイド下の伝達麻酔加算	改正	松原 小出 岡田	JCOA
		社保	小児運動器疾患指導管理料の適応年齢 の引き上げ	改正	葛原 西本 鬼木	運動器科学会
		外内保 連	再診時の他医 MRI、CT の読影料	新設	寺門 三宅 佐藤	運動器科学会
		自賠・ 労災	骨折非観血的整復術複数加算（骨折 非観血的整復術を骨折の数だけ加算）	改正	山田	JCOA
		運動器 リハ・ 介護	運動器不安定症訓練法の新設	新設	田辺	JCOA
		運動器 リハ・ 介護	運動器リハビリテーション小児加算 （15 歳以下）	新設	神藤	運動器科学会

	運動器 リハ・ 介護	リハビリテーションにおける脳血管 疾患等リハビリテーションⅡと運動器 リハビリテーションⅠ点数の格差の是正	改正	佐藤	運動器科学会
	運動器 リハ・ 介護	運動器リハビリテーションの起算日の変更	改正	五味渕	運動器科学会
	運動器 リハ・ 介護	急性増悪の規定の変更。運動器 リハビリテーションは、ロコモ 25 で 5 以上の場合急性増悪とする。	改正	小出	運動器科学会
	運動器 リハ・ 介護	早期リハビリテーション加算： 日帰り手術後の外来早期 リハビリテーションを含める。	改正	丸山	運動器科学会

15、平成30年度第6回 JCOA 編集委員会 2/6・T.V. 山口（眞）理事

日 時：平成31年2月6日（水）20:00～22:00

場 所：テレビ会議

出席者：編集委員会

副理事長 奥村 栄次郎

担当理事 林 承弘、木島 秀人

委 員 長 金藤 直樹

副委員長 町田 英明

委 員 三橋 繁、西能 健、伊藤 隆安

雑誌編集WG

担当理事 木島 秀人

委 員 長 赤松 俊浩

副委員長 島袋 博之

委 員 今村 恵一郎、西村 和博、宮島 茂夫、山口 眞一

欠席者：雑誌編集WG

委 員 池田 和男、高橋 清輝、立入 和久

議事

理事会上程事項

なし

審議事項

1. ニュース第 163 号の反省

平成 31 年 5 月で元号が変わるため、平成 31 年 4 月までは平成表記、平成 31 年 5 月以降は新しい元号が公表されるまでは西暦表記とすることとした。

2. ニュース第 163 号の進行状況

平成 31 年 3 月末までに発行予定である。

3. ニュース第 165 号の予定

担当は金藤直樹委員に決まった。

4. 会報 23 号の進行状況

会報 23 号は第 31 回 JCOA 学術集会（鹿児島）の特集号である。現在第 1 回目の校正中である。

5. 会報 23 号の予定

担当は金藤直樹委員と三橋繁委員に決まった。

6. 「運動器の健康・日本協会」からの脱退にともなう。ロゴマークの使用について

会報の表紙に「運動器の 10 年・世界運動」のロゴマークが使用されているが、今後は使用しないこととした。

7. 次回は平成 31 年 4 月に開催予定（テレビ会議）である。

報告事項

なし

16、平成 30 年度第 6 回雑誌編集 WG 2/6・T.V. 山口（眞）理事

日時：平成 31 年 2 月 6 日 20:00 - 22:00

場所：テレビ会議

出席者

副理事長 奥村 栄次郎

理事 木島 秀人 林 承弘

委員 赤松 俊浩 西村 和博 島袋 博之 宮島 茂夫 山口 眞一 今村 恵一郎
金藤 直樹（編集委員会） 町田 英明（編集委員会）三橋 繁（編集委員会）
西能 健（編集委員会）伊藤 隆安（編集委員会）

+++++

理事会上程事項

なし

+++++

報告事項

1. 115 号

113 号に掲載した投稿規程による投稿論文を掲載し、自由投稿論文 1 篇、第 30 回学術集会（東京）発表演題の投稿論文 2 篇、第 31 回学術集会（鹿児島）発表演題の投稿論文 3 篇が受理されている。

学術集会発表演題論文の投稿規定を加えた改定投稿規程を掲載する。本年 6 月に刊行し、第 32 回学術集会（関西）で見本誌として配布する。

判型が A4 版になり、国際化プロジェクト論文（英文論文）を掲載する。

2. 116 号

113 号に掲載した投稿規程による投稿論文を掲載する。

第 31 回学術集会（鹿児島）発表演題の投稿論文のうち 2 篇が査読中、1 篇が受付前チェック中、第 30 回学術集会（東京）発表演題の投稿論文 1 篇が受付前チェック中である。

第 32 回学術集会（関西）以降の利益相反の規定を組み込んだ改定投稿規定を掲載する。

第 7 回日韓臨床整形外科合同研究会の英文抄録を掲載する予定である。

+++++

協議事項

1. 115 号掲載予定論文

受理論文の不備について検討した。事務局から著者に連絡して訂正原稿を送稿してもらう。

2. 学術集会発表演題論文投稿フォーム

デモページが設置され、トライアルを開始している。

投稿論文登録機能をスタートさせるのは、学術集会初日の朝であり、それまでに仕上げる。

それまでは、投稿論文登録ページのかわりに登録期間外であること、学術集会発表演題論文についての説明、投稿の仕方の説明、学術集会発表演題論文投稿規定などを示したページを表示しておく。

3. 115 号の背表紙

和文と英文の並記にする。

17、平成30年度病院部会

2/9・東京

古瀬理事

平成30年度病院部会役員会

1. 日時：平成31年2月9日（土）18：00～19：30
2. 場所：品川プリンスホテル メインタワー38F「味街道五十三次」
東京都港区高輪 4-10-30

平成30年度病院部会全体会議およびJCOA研修会（病院部会主催）

1. 日時：平成31年2月10日（日）10：30～15：30
2. 場所：品川プリンスホテル メインタワー10F「ムーンストーン」
東京都港区高輪 4-10-30 TEL：03-3440-1111
3. 会議：10：30～11：00
4. 研修会（司会：古瀬洋一）
 - 11：00～11：03 挨拶 JCOA 病院部会部会長 平松廣夫
日本臨床整形外科学会理事長 新井貞男
 - 11：04～12：15 特別講演 1 「医療政策の動向」
座長：JCOA 病院部会部会長 平松廣夫
演者：厚生労働省医政局医事課 課長 佐々木 健 先生
 - 13：00～14：00 特別講演 2 「病院の整形外科医も活躍できる ICT を活用した地域医療多職種連携」
座長：JCOA 病院部会副部会長 横山 孝
演者：公益社団法人日本医師会 常任理事 長島 公之 先生
 - 14：00～15：30 パネルディスカッション 「地域包括ケアの時代の急性期から在宅までの連携について」
座長：JCOA 病院部会副部会長 小倉 雅
JCOA 病院部会幹事 廣瀬友彦
 - 1) 14：00～14：15 急性期病棟 河野臨牀医学研究所 事務局長 松崎 安孝 先生
 - 2) 14：15～14：30 回復期病棟 今林整形外科病院 今林正典 先生
 - 3) 14：30～14：45 地域包括病棟 竜操整形外科病院東病棟看護師長 黒瀬明子 先生
 - 4) 14：45～15：00 介護リハビリ おおや整形外科 佐藤栄作 先生
 - 5) 15：00～15：15 在宅訪問介護、デイサービス等 ヒロシマ平松病院作業療法

士

山下剛正 先生

6) 15:15～15:30 総合討論

15:30 閉会挨拶 日本臨床整形外科学会副理事長 原田 昭

緊急アンケート「GWの10連休中の4月30日、5月1日、5月2日に診療を行いますか？」

総回答数：45

3日間とも診療しない：8

3日間とも診療する：10

2日間診療する：16

1日診療する：6

3日間とも未定：5

4月30日：診療する23 診療しない15 未定7

5月1日：診療する16 診療しない21 未定8

5月2日：診療する29 診療しない11 未定5

18、平成30年度第3回運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会

2/11・東京 吉村理事

日時：平成31年2月11日（月）11:00～15:00

場所：日本臨床整形外科学会事務局2階「会議室」

出席者： 副理事長 三宅信昌 担当理事 貴島浩二、小野直司、河村英徳

委員長 佐藤栄作 副委員長 品田尚孝

委員 宮島久幸、久保田亘、吉村弘治、金子忠弘、田口 学、白川泰山

出席者計12名（敬称略）

理事会審議付帯事項：

特になし。

委員会決議事項：

1. 理事長諮問事項についての検討：

(1) 平成 32 年度診療報酬と平成 33 年度介護報酬の改定に向けて、診療報酬・

介護報酬改定要望事項の検討：本委員会からの要望項目のうち医業経営委員会にて採択された項目は以下の通りであり、各項目について医療技術評価提案書作成のための討議を行った。

＜日本臨床整形外科学会＞

新設 1. 運動器不安定症訓練法の新設【運リハ】

＜日本運動器科学会＞

新設 1. 運動器リハビリテーション小児加算（15 歳以下）【運リハ】

改正 2. リハビリテーションにおける脳血管疾患等リハビリテーション

Ⅱと運動器リハビリテーションⅠ点数の格差の是正【運リハ】

3. 運動器リハビリテーションの起算日の変更【運リハ】

4. 急性増悪の規定の変更。運動器リハビリテーションは、ロコモ
25 で 5 以上の場合急性増悪とする。【運リハ】

5. 早期リハビリテーション加算：日帰り手術後の外来早期リハビリ
テーションを含める。【運リハ】

(2) 運動器リハビリテーションの評価方法の検討：前回、JCOA 費用対効果研究 WG の「慢性腰痛に対する様々な治療法の費用対効果を定量化・比較する研究」に本委員会として参加し、症例の登録を行い終了した。本委員会でさらに追加研究をするかは、今後の検討事項とした。

(3) 介護事業への参入に関する検討：平成 31 年度も引き続き、学術集会での発表を通じて会員に周知していくこととした。

(4) 医療リハビリテーションから介護リハビリテーションの移行に関する検討及び会員への周知：引続き学術集会での発表を通じて会員に周知していくこととした。

2. 次回委員会について

次回の委員会は、平成 31 年 6 月 23 日（日）に開催することが決定した。

委員会報告事項：

1. 第 32 回学術集会（関西まほろば学会）におけるシンポジウムについて
本委員会企画のシンポジウムの運営について、次のとおり協議を行った。

セッション名：JCOA 委員会企画シンポジウム

運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会

セッションタイトル：「短時間通所リハ始めてみました。

ー介護リハへのアドバンスコース シーズンⅢー」

【座長】 貴島浩二（貴島中央病院）

運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会担当 JCOA 理事

佐藤栄作（おおや整形外科クリニック）

運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会委員長

【基調講演】 三宅信昌（三宅整形外科医院）（10 分）

運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会担当 JCOA 副理事長

【第 1 部】 「短時間通所リハ始めてみました」（25 分）

演題 1 「クリニックにおける短時間通所リハ導入経験について」

たぐち整形外科クリニック 田口 学（10 分）

演題 2 「自院通院患者の受け皿としての短時間通所リハ参入の経験」

よしむら整形外科 吉村弘治（10 分）

【第 2 部】 「短時間通所リハ始めてみました」のその後（30 分）

演題 3：「整形外科クリニックにおける負担の少ない介護リハの運営のコツ」

カワムラ整形外科 河村英徳（10 分）

演題 4：「運動器リハから介護リハへの移行と問題点」

おおや整形外科クリニック 佐藤栄作（10 分）

演題 5：「短時間通所リハの実施～通常型 1 時間と 3 時間の対比を中心に」

久保田整形外科医院 久保田亘（10 分）

【総合討論】（25 分）

19、第 4 回広報委員会報告

2/26・大阪 調子理事

日 時 平成 31 年 2 月 26 日（土）

場 所 グランヴィア大阪 15：15～

参加者 荻野 晃 岸本英樹 中川彰浩 中野晋吾 西澤 徹 邊見俊一

宮田重樹 山口康二 山本善哉 吉村弘治 調子和則

1. 大阪臨床整形外科医会会報 45 号（案）

- ・巻頭言 増田 博
 - ・なにわの先達 多田 浩
 - ・OCOA 総会報告 第 43 回 一般社団法人大阪臨床整形外科医会定時総会 4 月 13 日
 - ・第 31 回 JCOA 学術集会(鹿児島)報告
 7 月 15 日～16 日：城山ホテル鹿児島 岸本成人
 - ・第 45 回 JCOA 研修会（茨城）報告
 9 月 22 日～24 日：水戸プラザホテル 山本 哲
 エクスカーショ
 ゴルフ
 - ・OCOA 研修会報告
- 第 306 回研修会（4 月 14 日：ANA クラウンプラザ大阪：大正富山）
- 1 近畿大学医学部奈良病院 整形外科・リウマチ科 准教授 神谷 正人
 - 2 愛知医科大学医学部 整形外科学講座 主任教授 出家 正隆
- 第 307 回研修会（5 月 19 日：ホテル阪急インターナショナル：エーザイ）
- 1 大阪医科大学 小児科 助教 岡本 奈美
 - 2 大阪行岡医療大学 特任教授 米延 策雄
- 第 308 回研修会（6 月 23 日：リーガロイヤルホテル：小野薬品）
- 1 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻 地域医療分野
 リウマチ・膠原病内科学分野 講師 川尻真也
 - 2 関西医科大学 整形外科学講座 主任教授 齋藤貴徳
- 第 309 回研修会（7 月 28 日：ホテル阪急インターナショナル：ファイザー）
- 1 富山大学附属病院 整形外科 診療教授 川口 善治
 - 2 大阪医科大学整形外科学 講師 嶋 洋明
- 特別研修会（8 月 4 日）
- 1 慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 准教授 二木 康夫
 - 2 学校法人杏林学園杏林大学医学部 整形外科学教室 教授 市村 正一
- 第 310 回研修会（8 月 25 日：ANA クラウンプラザホテル大阪：旭化成）
- 1 奈良県立医科大学 整形外科 講師 重松 英樹
 - 2 聖隷浜松病院 整形外科部長／骨・関節外科部長 森 諭史
- 第 311 回研修会（9 月 29 日：ANA クラウンプラザホテル大阪：第一三共）
- 1 大分大学 総合診療科 講師 吉岩 あおい
 - 2 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科 講師 岡田 充弘

第 312 回研修会 (10 月 27 日 : ANA クラウンプラザホテル大阪 : 帝人)

- 1 京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 教授 戸口田 淳也
- 2 帝京大学医学部 整形外科学講座 教授 渡部 欣忍

第 313 回研修会 (11 月 17 日 : リーガロイヤルホテル : 久光製薬)

- 1 順天堂大学医学部 整形外科学講座 前任准教授 高澤 祐治
- 2 和歌山県立医科大学 整形外科学講座 准教授 岩崎 博

第 314 回研修会 (1 月 19 日 : ホテルグランヴィア大阪 : 日本臓器)

- 1 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学教室 准教授 寺井 秀富
- 2 帝京大学 スポーツ医科学センター 講師 笹原 潤

第 315 回研修会 (2 月 16 日 : ホテルグランヴィア大阪 : 科研製薬)

- 1 大阪警察病院 副院長 整形外科部長 大阪大学医学部臨床教授 林田 賢治
- 2 大阪府三島救急医療センター ひかり診療所 所長 岡本 雅雄 先生

第 316 回研修会 (3 月 23 日 : 帝国ホテル大阪 : 中外製薬)

- 1 大阪急性期・総合医療センター 免疫リウマチ科 主任部長
関節リウマチ・バイオサポートセンター長 藤原 弘士
- 2 大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 准教授 今西 康雄

・平成 30 年度単位申請状況

・ OCOA 活動報告

OCO A ハンズオンエコーセミナー (6 月 30 日) 山本善哉

ロコモ健康フォーラム (7 月 21 日) 藤本啓治

地域情報委員会 (8 月 26 日) 宮田重樹

骨と関節の日メイン行事 (10 月 6 日) 山口眞一

30 年度 運動器リハセラピスト資格継続研修会 (11 月 11 日) 上野憲司

30 年度大阪臨床整形外科医会療法士会活動報告 中川浩彰

大阪マラソンに参加または観戦報告、大阪マラソン救護活動報告 (11 月 25 日)

福井 潤 和田孝彦 史 賢林

ロコモコーディネーター資格取得研修 (12 月 2 日) 山本 哲

・厚生部報告

ゴルフ部 宮崎 浩 テニス部 岸本成人

・会員投稿

OCO A 実践エコー講座④ 大島 正義

医学史探訪、各務文献二百回忌法要 (10 月 14 日) 今井 秀

手 記 黒田晃司

私の工夫

紀 行

・私の趣味

・私の傑作

喜多義将

・新入会員の自己紹介

篠原和幸、石川正土、根木陽一郎

・理事会議事録

・会員名簿補追 平成 30 年 7 月～平成 31 年 4 月補追

・編集便り、編集後記

・投稿規定

その他

・新入会員の広報誌投稿依頼： 既にリクルート委員会より原稿依頼はしていただいているが、理事や紹介者からも依頼をお願いすることとした。

・新規広告協賛会社 各理事に新規広告会社の検討依頼

20、第56回大阪整形外科症例検討会 3/16・大阪 岸本理事

開催日時：2019 年 3 月 16 日（土）15:00-18:00

会場：北浜フォーラム（大阪市中央区北浜 1 丁目 8 - 16 大阪証券取引所ビル 3F）

15:00 開会の辞 大阪赤十字病院 整形外科 副部長 鈴木 隆先生 <第1部>

15:05～15:55 座長 山口医院 山口 眞一先生

1. 『関節エコーを用いたリウマチ性疾患の鑑別と関節リウマチに対するサリルマブの治療経験 東永内科リウマチ科 院長 齋 炳碩先生

2. 『Friberg 病に対し骨軟骨柱移植が有効であった一症例』

JR 大阪鉄道病院 整形外科 宮島 佑介先生

3. 『股関節インプラントが腹腔内に陥入し治療に難渋した症例』

大阪府済生会中津病院整形外科 上野 健太郎先生

<第2部> 16:00～16:50 座長大阪府済生会中津病院副院長 大橋 弘嗣先生

4. 『脛骨骨折に対する髄内釘固定術の治療成績』

堺市立総合医療センター 整形外科 部長 大野 一幸先生

5. 『ACL 脛骨付着部剥離骨折変形治癒に対しての治療方法』

大阪赤十字病院 整形外科 富 友宏ステファン先生

6. 『RommensⅡからⅣへと進行した脆弱性骨盤輪骨折』

関西電力病院 脊椎外科・手外科・整形外科 薮本 浩光先生

*****コーヒープレイク (16:50～17:00) *****

特別講演 17:00～18:00

座長 大阪赤十字病院 整形外科 副部長 鈴木 隆先生

骨粗鬆症性椎体骨折を原因とする脊柱変形に対する

手術治療の問題点と骨粗鬆症薬の使い分け

近畿大学医学部 整形外科教室 講師 池田 光正先生

参加費 : 1,000 円

研修単位 : 日整会教育研修会 ※会員カードをご持参ください

【4】代謝性骨疾患（骨粗鬆症を含む）、【7】脊椎・脊髄疾患、SS

日整会脊椎脊髄病医資格継続) 1 単位 (1000 円)

大阪府医師会生涯研修 ※チケットをご持参ください

【7】医療の質と安全、【12】地域医療、【19】身体機能の低下、【59】背部痛、【60】腰痛、
【77】骨粗鬆症) 3 単位

会終了後、情報交換会を予定しております。

共催:大阪整形外科症例検討会 旭化成ファーマ株式会社

後援:大阪臨床整形外科医会

2 1、第 21 回 OCOA テニス部例会の開催 4/7・大阪 岸本理事

平成 31 年 4 月 7 日 (日) 午前 9 時-12 時

江坂テニスガーデン 屋内コート において

第 21 回 OCOA テニス部例会を行うことが内定いたしました

0COA テニス部部長 栗本一孝

0COA テニス部世話人代表 岸本成人

2 2、南海トラフ巨大地震に伴って発生する津波被害に関する意識調査と

今後の対策 意見

津波アンケート資料

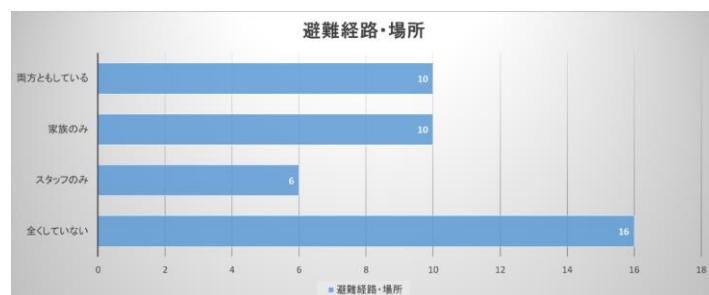
① 南海トラフ巨大地震が発生した場合
津波も発生すると思いますか？



② 診療所に津波が到達する可能性があると思いませんか？



③ 津波発生時に、避難経路や避難場所に関して家族やスタッフで話し合いをしていますか？



④ 避難経路・避難場所の確認



南海トラフ巨大地震に伴って発生する津波被害に関する意識調査と今後の対策

災害対策委員会

委員長

神 藤 佳
孝

委員

宮崎 浩

委員

邊見 俊一

（目的）東日本大震災、熊本地震、大阪北部地震と近年大きな地震が多発している。特に、東日本大震災の人的被害の大半は、津波によるものであった。今後 30 年以内に 70～80%の確率で発生すると予想される南海トラフ巨大地震でも、沿岸部に於いて津波による甚大な被害が予想されている。今回、津波被害から住民、医療者を守るための対策を探るため、アンケートによる調査をおこなった。

（方法）大阪臨床整形外科医会会員の医師ならびにそのスタッフに対し、クリニックで就業中に地震による津波が発生した想定で、17 項目にわたる質問内容を有するアンケートをおこなった。アンケートの回答は FAX 及びメールにて回収した。

（結果）医師 108 名、スタッフ 528 名の合計 636 名からの回答が得られた。南海トラフ巨大地震では、広範囲に巨大な津波が発生すると、全ての医療機関で予想していた。自身のクリニックにも津波が到達すると考える医療機関が大半であったが、津波に備え何らかの対策を行っているかとの質問に対しては、十分な対策がとられていない医療機関もみられた。津波が 60 分以内にクリニックに到着すると 53%が想定していたにも関わらず、避難経路や避難場所の確認をおこなっている医療機関は、それぞれ 13%、15%に留まった。また、津波からの避難手段について多くが徒歩での避難を考えていたが、10%の施設では自動車での避難を想定していた。

（考察）津波から身を守るためには、素早く逃げる、高いところに逃げる事が重要と思われる。今回のアンケート結果では、多くの医療機関で南海トラフ巨大地震では津波が発生すると予想し、その対策の必要性を理解しながらも、実際は何も行っていないことが明確となった。避難経路と避難場所の確認、また迅速に避難するための手段を確認することが重要で

あると思われる。また、災害時の行動をスタッフと話し合い行動規範を共有することも重要と思われた。

23、OCOA リクルート委員会の活動報告

邊見理事

【設立】平成30年3月2日理事会に於いて設置承認され活動を開始した。

【目的】未入会整形外科医師・新規開業整形外科医師の入会を促し、会員数増加に繋げる。

【方法】委員長・副委員長・委員は、5大学から均等に選出する。大阪府内の各医師会単位で委員を一人置き、整形外科新規開業情報（出身大学・学年・など）のを把握する。3か月ごとにリクルート委員会開催、新規開業医に対して同門・近い学年の委員が勧誘し、その結果を理事会で報告する。

インセンティブとしては、研修会出席のみで専門医の全単位が揃う、研修会の内容が最新で論文を数十篇読むに値する内容が網羅されている、運動器リハに関する研修会や理学療法士雇用に関する情報も得られる、大学の垣根を超えた横のつながりができる、希望があれば OCOA 委員として活躍できる（委員としての活動時間は僅かで、自院の営業には支障なし）基金や国保審査員との会話も可能などを提示する。

未入会医師対策として、各大学単位で同窓会名簿と OCOA 名簿を照らし合わせ、未入会医師を洗い出す。後は、新規開業と同様の扱いで、リクルートを行い、結果を理事会報告する。

【リクルート委員会】

主担当副会長 白木隆士

担当副会長 長谷川利雄、藤本啓治、小林正之、木下裕介

委員長 神藤佳孝

委員 梁 裕昭（大阪医大）、大成 浩征（関西医大）、邊見 俊一（阪大）、
西澤 徹（市大）、宮崎 浩（近大）、宮田 重樹（奈良）、田上 実男（和歌山）

【結果】

新規入会者はリクルート委員設置前、平成27年5人、平成28年12人、平成29年6人だったのに対し、設置後平成30年4月以降で既に31人と大幅に増加した。

【今後の運用】

今後も、各大学ごとにリクルート委員が中心になり非会員者、新規開業医師の勧誘を継続する。

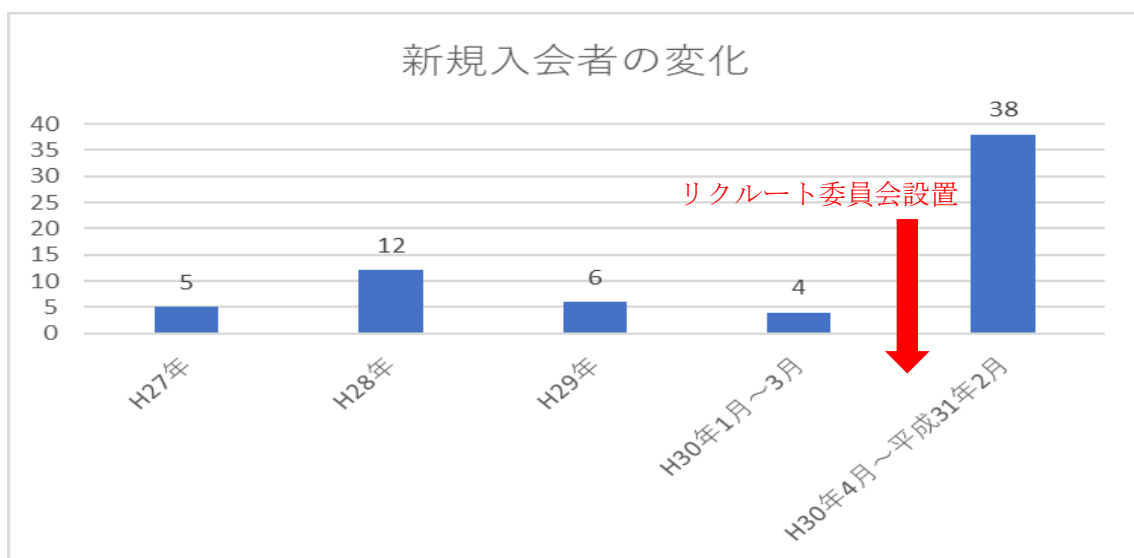
24、リクルート委員会設置後の入会者の変化に関する報告 邊見理事

リクルート委員長	神藤 佳孝
委員	大阪医大 梁 裕昭
	関西医大 大成 浩征
	市大 西澤 徹
	近大 宮崎 浩
	奈良医大 宮田 重樹
	和歌山医大 田上 実男
	阪大 邊見 俊一

目的) 過去の研修会参加者分析において、参加者の多い研修会では非会員が多く参加していることが判った。リクルート委員会設置後、在阪5大学と京大・和医大・奈良医大の非会員開業医を抽出しリストを作成し、入会勧誘を積極的におこなってきた。リクルート委員会設置前後で、入会者の変化を検討したので報告する。

対象と方法) 各大学の同窓会名簿や開業医名簿から非会員リストを作成し、大学ごとにリクルート委員を中心に入会勧誘をおこなった。リクルート委員会設置後の入会者数と設置前過去3年の入会者数を比較した。(H30.11～H31.2まで新規入会者7名追加分)

結果)



今後の運用)

- ・今後もリストからリクルート委員を中心に非会員者の勧誘をおこなう。
- ・各大学の同窓会名簿。開業医名簿更新後、リクルート委員はアップデートを行なう
(→辺見に連絡)
- ・京大の開業医からの新規入会者は無かった。今後、石井理事と相談し勧誘をおこなう予定。

25、学術研修委員会の活動報告

邊見理事

学術担当副会長	白木 隆士
学術研修委員会 委員長	神藤 佳孝
定期研修会単位申請担当	西澤 徹
特別研修会単位申請担当	堀口 泰輔
学術研修委員会 委員	邊見 俊一

1、学術研修会に於けるメーカー・OCOAが実施するアンケート調査に関して

学術研修会は、OCOA 対外行事の中心的な存在である。最近の製薬業界の情勢から継続的な研修会開催のサポートを得るためには、OCOA とメーカーが良好な関係性を構築する事が重要である。製薬メーカーの販売促進などの情報収集、学術研修委員会としては、研修会参加者の増員、講師選定、研修会に対する会員ニーズの把握のため、アンケート調査をおこなってきた。

第 308 回(H30.8) ～313 回(H30.11)研修会までのアンケート調査によると、研修会で希望するテーマは外傷性疾患、肩・肘関節疾患、腫瘍性疾患、小児整形疾患、14 分野が多かった。また、研修会で希望する単位は①スポーツ②リウマチ③リハビリの順であった。

今後もアンケート調査を継続し、研修会参加者増員、講師選定、会員ニーズの把握をおこなっていく予定である。

2、OCOA 非会員の研修会参加者リストの利用状況に関する報告

過去の研修会参加者分析において、参加者の多い研修会では非会員が多く参加していることが判った。過去の研修会の参加者の内、非会員を抽出しリストを作成し、研修会ごとにバージョンアップをおこなっている。このリストを基に、メーカーから研修会参加の勧誘をおこなって頂き、研修会集客増加を狙ってきた。

研修会における非会員率は平成 29 年 37.7%、平成 30 年 9 月まで 38.7%、非会員参加者リストの利用開始した平成 30 年 10 月～38.0%であり、大きな変化はないが、直近の 2 月の研修会では 45%が非会員参加者であり、データーを取り始めてから最大となった。

リスト実際に使用した担当 MR より、参加回数が一目で判るため、参加人数の多い非会員を中心に少人数の MR で効率的に研修会の参加勧誘がし易いと報告があった。今後も、非会員リスト使用前後で、研修会参加人数や非会員の参加率が上がっているかを評価する予定である。

3、研修案内チェックチームの編成と実務実施

昨年 5 月・9 月学術研修会における研修会案内の大きな不備が認められ、会員諸氏に多大なる迷惑をかけることになった。このような研修案内の不備の防止するため、研修案内チェックチームを編成し、平成 30 年 11 月研修会より実務実施をおこなってきた。

対象は、大阪臨床整形外科医会研修会（定期研修会・特別研修会）、BJ フォーラムとし、メーカーより作成された研修会案内を、チェックリストを用いてチェックチームが確認をおこなった。修正をおこなった後、最終的に学術担当副会長 白木が研修会案内の発行をメーカーに許可した。

研修案内チェックチームが出来てから数回の実務しかないが、毎回数カ所の修正箇所があり、今後も継続して行う必要があると思われる。

26、平成 30 年度研修会収入

木下副会長

特別第 5 回 リハ研修会	H30. 2. 10 ウンプラザ	ANA クラ 医 師：会員 80 名 非会員 82 名 162 名 療法士会：会員 29 名 非会員 5 名 34 名	242, 000	武田薬品
第 304 回	H30. 2. 17 ルグランヴィア	ホテ 会員 158 名 非会員 160 名 318 名	489, 000	科研製薬
第 305 回	H30. 3. 24 テル	帝国ホ 会員 112 名 非会員 50 名 162 名	289, 000	中外製薬
第 306 回	H30. 4. 14 ウンプラザ	ANA クラ 会員 132 名 非会員 63 名 195 名	288, 000	大正富山

第 307 回	H30. 5. 19 ホテル阪急インター ナショナル	会員 135 名 非会員 85 名 220 名	346,000	エーザイ
OCOA 特別研修会	H30. 6. 9 コングレコンベンショ ンセンター	会員 70 名 非会員 50 名 120 名	170,000	あゆみ製薬
第 308 回	H30. 6. 23 リーガ ロイヤルホテル	会員 109 名 非会員 61 名 170 名	241,000	小野薬品
第 309 回	H30. 7. 28 ホテル阪急インター ナショナル	会員 107 名 非会員 76 名 183 名	261,000	ファイザー
OCOA 特別研修会	H30. 8. 4 ANA クラウ ンプラザ	会員 141 名 非会員 90 名 231 名	330,000	塩野義 リリー
第 310 回	H30. 8. 25 ANA クラウ ンプラザ	会員 145 名 非会員 107 名 252 名	327,000	旭化成
運動器疾患/骨・ 関節フォーラム	H30. 9. 22 コングレコンベンショナ ルセンター	会員 125 名 非会員 72 名 197 名	400,000	中外製薬 メジカルビュ ー
第 311 回	H30. 9. 29 ANA クラウン プラザ	会員 120 名 非会員 71 名 191 名	234,000	第一三共
OCOA 特別研修会	H30. 10. 20 ホテルモントレグ ラスミア大阪	会員 71 名 非会員 51 122 名	164000	クラシエ
第 312 回	H30. 10. 27 ANA クラウン プラザ	会員 119 名 非会員 71 名 190 名	247000	帝人
第 313 回	H30. 11. 17 リーガロイヤルホテ ル	会員 104 名 非会員 48 名 152 名	199000	久光製薬
第 314 回	H31. 1. 19 ホテル グランヴィア	会員 131 名 非会員 80 名 211 名	280000	日本臓器
合計			4507000	

27、研修会収入推移

木下副会長

平成 27 年度

平成 28 年度

平成 29 年度

平成 30 年度

研修会回数	14 回	14 回	14 回	16 回
総収入	3,671,000	4,282,000	4,754,796	4,507,000

28、OCOA 総資産推移

木下副会長

	OCOA 総資産 推移表	前年度との差額
平成 23 年度	(H24. 1. 31) 27,760,000	
平成 24 年度	(H25. 1. 31) 25,950,000	1,810,000
平成 25 年度	(H26. 1. 31) 25,150,000	800,000
平成 26 年度	(H27. 1. 31) 22,250,000	2,900,000
平成 27 年度	(H28. 1. 31) 18,570,000	3,680,000
平成 28 年度	(H29. 1. 31) 15,751,989	2,810,011
平成 29 年度	(H30. 1. 31) 14,221,681	1,530,308
平成 30 年度	(H31. 1. 31) 9,167,628	5,054,053

29、委員会報告

1、総務委員会

小林副会長

新入会 38 名 退会 10 名うちご逝去 2 名 名誉会員ご逝去 1 名
 入退会事務 JCOA への報告
 ご逝去 2 名には供花を送った

議事録委員会報告

中野理事

平成 30 年 4 月 14 日 OCOA 総会後に議事録委員会を行い、以下確認し実行した

1、理事会資料作成 和田孝彦 (サポート) 大成浩征

2、レジメ作成 中野晋吾 (サポート) 山本善哉

総会レジメは 12 月 29 日にレジメ委員会で概要決定後、順次修正しほぼ完成

3 月理事会での予算・会計報告後それを掲載し、確認を得て校了とし、印刷予定

3、議事録作成担当（作成後、ホームページ上の会員の部屋・理事会専用に掲載）

平成30年 6月2日 A 上野憲司 日下昌浩 宮口正継
平成30年 9月1日 B 宮田重樹 大成浩征 田中富弥
平成30年12月1日 C 清水広太 邊見俊一 岸本秀樹
平成31年 3月2日 D 吉村弘治 山本善哉 （今回予定）

福利厚生

(1)会員親睦ゴルフコンペ

第69回（春季）ゴルフコンペ 平成31年6月30日 茨木カントリー倶楽部（西コース）
第70回（秋季）ゴルフコンペ 平成31年11月3日 サイプレスGC

(2)会員親睦テニス大会

第19回 OCOA テニス部例会 平成30年4月1日 江坂テニスセンターインドア
第20回 OCOA テニス部例会 平成30年10月14日 江坂テニスセンター
第21回 OCOA テニス部例会 平成31年4月7日予定 江坂テニスセンター

2、学術委員会

白木副会長

開催なし

3、医療保険対策委員会

小林副会長

平成30年9月8日 JCOA 保険審査委員会議および
9月9日 全国整形外科保険審査委員会議に出席

4、定款等検討委員会

藤本副会長

開催あり

5、広報委員会

小林副会長

会報編集委員会

OCOA 会報第44号を30年7月に発行

インターネット委員会

F ネット

6、介護保険・運動器リハ委員会

藤本副会長

セラピスト委員会報告

上野理事

平成 30 年 11 月 11 日(日)にセラピスト資格継続研修会およびロコモコーディネーター資格継続研修会を開催し、各委員は、出務し、運営に携わった。

7、骨と関節の日委員会

藤本副会長

開催なし

8、JCOA対策

長谷川副会長

1. JCOA理事会

- (1) 年 6 回（4, 6, 8, 10, 12, 2 月）の理事会が開催され、長谷川、貴島が出席した。
- (2) 第 70 回及び 71 回近畿ブロック会が開催され、執行部を中心に出席した。

2. JCOA各種委員会

O C O A選出の委員が以下の 11 の委員会に出席した。

- (1) 医療システム委員会
- (2) I T戦略委員会
- (3) 運動器リハ・介護委員会
- (4) 学術研修委員会
- (5) 病院WG
- (6) 無床診WG
- (7) 雑誌編集WG
- (8) SLOC 連携委員会
- (9) 利益相反管理委員会
- (10) 利益相反小委員会
- (11) 社会保険委員会

9、大阪マラソン委員会

藤本副会長

開催なし

10、医政担当委員会

増田会長

研修会冒頭の会長挨拶で 整形外科医政協議会への加入を呼びかけた
次年度は 参議院選挙があるので 日医推薦の羽生田たかしさんを応援してほしい

11、療法士担当委員会

藤本副会長

開催なし

12、経理委員会

木下副会長

H31 年 1 月 19 日 常任理事会終了後開催

出席者 栗本先生、長谷川先生、前中先生、藤本先生、白木先生、堀口先生、清水先生、荻野先生、木下

会計報告、予算案について基本的な考え方について討論した。

13、災害対策検討委員会

小林副会長

災害アンケートを行い 報告を行った 委員会より別に報告

15、地域情報委員会報告

宮田理事

地域情報委員会は、郡市区医師会で役員として活動されている OCOA 会員を中心に、大阪府の介護予防、ロコモ啓発、ロコトレ普及、運動器検診の整備、運動器二次検診の充実等、整形外科医が地域に関わる事業を効果的に進めることを目的とした委員会です。

超高齢社会に突入した日本において厚労省は地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その 3 本柱は、在宅医療、介護予防、生活支援です。在宅医療は医師会と

しても積極的に取り組まれています、介護予防に関しては十分な体制とは言えず、さらなる充実が望まれています。

日本整形外科学会は、ロコモを提唱し、ロコトレを行うことでいつまでも自立した生活を過ごして寝たきりになる高齢者を減らすことを目指しています。

地域での介護予防を向上させるためには、ロコモの啓発とロコトレの指導が有効であり、そのためには運動器の専門医である整形外科医の関与が欠かせません。

ロコモは、高齢者だけの問題ではなく、子供にも運動器機能不全（子供ロコモ）が多くいることが、運動器検診で判明致しました。問題のある子供を見つけ出すことが目的ではなく、対処することが重要です。ここでも、整形外科医の関与が欠かせません。

これらの問題解決には整形外科医個々の努力だけでは限界があります。

医師会と行政が協力して事業を進める必要があります。今まで地区医師会で個別に頑張っておられる所もあります。しかし、事業をさらに進めて行くためには地区医師会で役員をされている整形外科医の先生方と情報を共有し、同じく行動することが必要と思われます。

増田会長のご指示でロコモ講演を行うロコモスライドを作成しました。ロコモ健康フォーラムで使ったスライドの基です。ロコトレ指導のポイントマニュアル、ロコトレ教室運営マニュアルを作成し、ホームページに掲載し、会員が自由に使えるようにした。

日時：8月26日（日）に委員会を実施。 場所：プレミアムビア&ワイン 113

14. 地域情報委員会				
会長直轄	増田博			
副会長	小林正之	長谷川利雄	白木隆士	藤本啓治
	木下裕介			
常任理事	森本清一			
アドバイザー	茂松茂人	三橋二良	天野敬一	長田明
委員長	宮田重樹			
委員(理事)	石井正治	調子和則	中川浩彰	堀口泰輔
	上野憲司	神藤佳孝	中野晋吾	田中富弥

	大成浩征	日下昌浩	山本善哉	宮崎浩
委員	西川正治	太田信彦	白川貴浩	

特別1、第32回JCOA学術集会まほろば関西

長谷川副会長

1. 日程；平成31年（2019年）7月14日（日）～15日（月・祝）
2. 場所：神戸国際会議場、神戸商工会議所
3. 懇親会会場：神戸ポートピアホテル コンベンション会社株式会社コングレ 九州支社
4. テーマ「Never stop learning-原点回帰、臨床医は一例に学ぶ-」
5. 組織
 - ・ 会長：田中幸博（奈良県）
副会長 岡田幸也、小椋廣次、山下文治、葦原滋、山本哲
 - ・ 実行委員長 長谷川利雄
 - ・ 学術委員長 山下仁司
6. 基調講演 「これからの整形外科診療の展望」仮題
 - ・ 奈良医大整形外科教授 田中康仁 先生
7. 特別講演 「脊椎関係」
 - ・ (公) 日本整形外科学会理事長 山崎正志 先生
8. 教育講演 「iPS 関連」
 - ・ 京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA)
臨床応用研究部門 細胞誘導制御学分野 教授 妻木範行 先生
9. 外国人招待講演（骨軟部腫瘍）
 - ・ 中華民国骨科医学会 理事長
 - ・ 陳威明先生
10. シンポジウム 3 題
 - ・ 「超音波診断装置の今後の利用」仮題（企画：田中幸博会長）
 - ・ 「ロコモティブシンドロームをとりまく諸問題」（企画：長谷川利雄）
 - ・ 「交通事故診療」（企画：山下仁司先生）
11. 主題 30 題：基本的には公募
12. エコーハンズオンセミナー（大島）
13. スポーツ医懇談会（麻生）→学術集会プログラムに組み込む

14. セラピスト・ロコモコーディネーター資格継続研修会（上野）

15. 演題募集

指定演題 40 公募演題 245 (2/26) 合計 285

16. 学術集会発表演題論文

オンライン投稿を目指してシステムを構築中

17. 資金調達状況

共催セミナー25社確定、展示会出展・書籍展示及び広告掲載を募集中

30、研修会実施報告

白木副会長

314回研修会（1月19日 ホテルグランビア大阪 名庭の間）

共催 日本臓器（株）

211名 会員131名 非会員80名

総合司会 片岡 英一郎 受付 宮田 重樹

講演1：

座長 貴島 浩二

演題名「側弯症の診断と治療

～開業医が知っておくべき側弯症（治療）のピットホール～」

演者 大阪市立大学大学院 医学研究科 整形外科教室

准教授 寺井 秀富 先生

講演2：

座長 日下 昌浩

演題名「運動器超音波診療の最前線～エコーは整形外科医のマストアイテム～」

演者 帝京大学 スポーツ医科学センター 講師 笹原 潤 先生

日整会 講演1 3 7 SS

講演2 1 2 S

- 日医生涯研修 7 医療の質と安全
 11 予防と保健
 15 臨床問題解決のプロセス
 72 成長・発達の障害

315 回研修会 (2 月 16 日 ホテルグランビア大阪)

共催 科研製薬 (株)

302 名 会員 167 名 非会員 135 名

総合司会 清水 広太	受付 邊見 俊一
------------	----------

講演 1 :

座長 岸本 成人

演題名 「スポーツ選手の肩関節前方脱臼に対する治療選択」

演者 大阪警察病院 副院長 整形外科部長 大阪大学医学部臨床教授
 林田 賢治 先生

講演 2 :

座長 吉村 弘治

演題名 「上腕骨遠位部骨折の治療～成人例について」

演者 大阪府三島救急医療センター
 ひかり診療所 所長 岡本 雅雄 先生

日整会 講演 1 2, 9, S

講演 2 2, 9, Re

日医 14、15、57、61

3 1、社保、国保柔整審査委員について

増田会長

全国健康保険協会大阪支部「大阪府柔道整復施術療養費審査委員会」委員
 及び

大阪国民健康保険等「柔道整復療養費審査委員会」委員 について

社保・柔整審査委員は

藤本啓治先生 白木隆士先生 荻野晃先生 安田忠勲先生 の 4 名

国保・柔整審査委員は

学識経験者 岸本成人先生 木下裕介先生 山口眞一先生の3名

保健者代表 吉村弘治先生 西澤徹先生 西浦弘行先生 の3名 を推

薦させていただきました。

32、祝賀会参加について

増田会長

4月20日

大阪精神科診療所協会 創立50周年 祝賀会 増田

大阪府耳鼻咽喉科医会 創立70周年 祝賀会 藤本副会長が 出席します

33、その他

増田会長